

経営研究

第 1 号

(1950・12)

- 経営経済学史の方法論牛 尾 真 造
 株式会社における資本支配伊 藤 淳 巳
 公開市場政策について川 合 一 郎
 〈書 評〉
 銀行信用の「論理」
 —高木暢哉教授『銀行信用論』について—生 川 栄 治
 〈紹 介〉
 ミシュスチン『世界貿易論』序論寺 村 鉄 三

第 2・3 合併号

(1951・12)

- アメリカ会計学の動向
 —アメリカの会計原則—木 村 和 三 郎
 ドイツ貸借対照表理論史の問題点
 —会計におけるドイツ型とアメリカ型—宮 上 一 男
 工業簿記の記録対象について堀 江 義 広
 複式簿記の論理
 —個別的諸資本における基本的矛盾の構造とその自己疎外型像としての貸借対照表—牛 尾 真 造
 〈紹 介〉
 ゼーリツェル「工場内独立採算制の諸問題」寺 村 鉄 三

第 4 号

(1952・3)

- 自由社会における社会保障近 藤 文 二
 労働科学以前内 海 義 夫
 〈資 料〉
 J. クチンスキー著『1789年から現在に至るアメリカ労働階級状態小史』金 子 卓 治
 〈紹 介〉
 テイラーシステムに対するレーニンの批判内 海 義 夫

第 5 号

(1952・5)

- 賃金水準と賃金配分伊 藤 淳 巳
 簿記理論の一考察
 —会計学における動的論と静的論(序説)—白 井 佐 敏

〈資料〉

資本主義経済の合理性の問題

—戦後の経済復興問題との関連において—上 林 貞治郎

第 6 号

(1952・7)

日本産業構造の変化

—技術主義・経済主義的偏向の批判—上 林 貞治郎

地方的市場について森 下 二次也

〈資料〉

最近の賃金問題向 笠 良 一

第 7 号

(1952・12)

国家独占資本主義と中小工業

—日本中小工業論序説—橋 博

〈資料〉

新中国における農業生産合作社の諸問題儀 我 壮一郎

新民主主義における私的資本主義経済の問題内 藤 昭

第 8 号

(1953・1)

「エネルギー理論」について内 海 義 夫

工業金融の発生について

—英国金融資本成立前史—生 川 栄 治

技術・労働過程・生産関係

—星野芳郎氏の所説について—笹 川 儀三郎

第 9 号

(1953・4)

為替相場の本質

—資本と貨幣—川 合 一 郎

人口問題と「土地収獲遞減の法則」

—マルサスに対する現代的批判の覚書—儀 我 壮一郎

統計調査の誤差

—デミングによる誤差の表出—野 村 良 樹

第 10 号

(1953・5)

明治前期における民族資本の問題牛 尾 真 造

米英綿業の賃金比較土 田 喜市郎

最低賃金制の基本問題向 笠 良 一

第 11 号 (1953・7)

- 日本民族資本の論理
 —「植民地的従属国」日本における民族資本の中核とその周辺— ……牛尾真造
- アメリカの国土開発
 —現代資本主義の国土開発の特徴— ……笹川儀三郎

第 12 号 (1953・10)

- 経営学の本質および類型に関する基本的考察 ……北川宗蔵
- 独占資本主義と小売商
 —ドイツ小売商の没落過程— ……上林貞治郎

第 13 号 (1954・1)

- 動態勘定学説私論 ……辰巳明
- 戦後日本鉄鋼業の基礎条件に関する一考察(1) ……古畑義和

第 14 号 (1954・5)

- 企業簿記の歴史的特質について
 —期間損益計算の生成=確立過程を主題として— ……白井佐敏
- 新民主主義社会の基本的性格
 —中国における過渡期の全般的方針をめぐって— ……内藤昭
- 〈紹介〉
 会計学の新しい方向
 —王逢辛・劉文宗編著『新会計学教程』について— ……森田寿一

第 15 号 (1954・9)

- 労働力の価値とその変動 ……上林貞治郎
- 科学的管理と会計の交渉(一)
 —未来計算制度の生成過程— ……辻厚生
- ネムチーフ統計学の基礎(一)
 —『農業統計とその一般理論的基礎』について— ……野村良樹

第 16 号 (1954・12)

- 科学的管理と会計の交渉(二)
 —未来計算制度の生成過程— ……辻厚生
- 〈紹介〉
 ソヴェト商業労働の諸問題
 —B.I. ゴーゴリ『労働・労働力・賃金』について— ……山本朗
- 〈資料〉
 中国における過渡期の経済法則に関する論争
 —茹季札氏の見解について— ……内藤昭

藤田敬三教授訪華記念論文集

社会保障の盲点 — 医療保険の危機と国民健康保険のあり方 —	近 藤 文 二
労働力の需給法則	上 林 貞治郎
戦後農村の階級関係	内 海 義 夫
日中貿易について	平 岡 健太郎
技術の概念	原 光 雄
「外国統計調査年表」について	上 杉 正一郎
農業発展の二つの道について	古 畑 義 和
共産主義への漸次的移行期における社会主義的拡大再生産の一・二の問題について — ベーチン、ストルミリンの所論から —	一ノ瀬 秀 文
株式会社制度と株主支配	伊 藤 淳 巳
国民的科學としての會計学	宮 上 一 男
後入先出法とその限界 — この方法の支柱としての庫出し順 —	木 村 和 三 郎

第 19 号

(1955・9)

生産力の構成要素について — 主として労働過程の諸契機との関連において —	笹 川 儀三郎
最近における繊維産業の実態	柴 田 悦 子
〈 紹 介 〉 ヨハン・ローレンツ・シュミット、ドイツ民主共和国における 経済学の講義・研究活動について	山 本 朗
〈 資 料 〉 B. チェルメンスキー アメリカ・ブルジョア労働生産性統計の批判	野 村 良 樹
〈 書 評 〉 藤田敬三・金持一郎共編『日本の中小企業』 大阪市大経済研究所『日本独占資本と中小企業』	古 畑 義 和
ソ同盟科学院経済研究所編 古畑義和・寺村鉄三共訳『統計集——戦後資本主義の経済構造——』	野 村 良 樹

第 20 号

(1956・2)

生産力の概念	原 光 雄
企業会計原則の論理	白 井 佐 敏
〈 紹 介 〉 現代アメリカ経営管理の一般理念 — W.V.Owen, "Labor-Management Economics", 1946年 —	橋 博

エス・カ・タトゥル『ソ同盟の国営企業における経済計算制』(一) ……寺 村 鉄 三

第 21 号 (1956・3)

ソ同盟の7時間労働制について ……内 海 義 夫

ロンドン資本市場と海外投資機構

—マーチャント・バンカーを中心として— ……生 川 栄 治

労働生産性指数と産業構成 ……野 村 良 樹

〈紹介〉

エス・カ・タトゥル『ソ同盟の国営企業における経済計算制』(二) ……寺 村 鉄 三

第 22 号 (1956・6)

配給論の Functional Approach について ……森 下 二次也

経営学の方法

—とくに「立場」と「端初」の問題によせて— ……牛 尾 真 造

〈紹介〉

エス・カ・タトゥル『ソ同盟の国営企業における経済計算制』(三) ……寺 村 鉄 三

〈研究のしおり〉

経営学について ……伊 藤 淳 巳

第 23 号 (1956・9)

健康保険と労務管理

—その歴史的研究— ……近 藤 文 二

〈資料〉

アメリカの健康保険における強制と任意制 ……金 子 卓 治

中国における資本主義工業改造の新段階 ……儀 我 壮一郎

〈書評〉

経営管理の構造分析

—森・藤芳両氏の見解について— ……橋 博

〈研究のしおり〉

経 済 学 ……川 合 一 郎

第 24 号 (1956・10)

独占段階における資本・経営・労働の関係

—アメリカ経営学的理論の分析を中心として— ……上 林 貞治郎

経営学・経営経済学・経営管理学 ……伊 藤 淳 巳

〈資料〉

占領政策としての農地改革

—その地方的干渉— ……古 畑 義 和

〈研究のしおり〉

商業簿記について ……白 井 佐 敏

- 道具と機械
—その区別の論理—原 光 雄
- 新中国の対外貿易
—その特質をめぐって—内 藤 昭
- 〈書 評〉
グループ・バンキングの経済学
—P.T. Hogenson, "The Economics of Group Banking", 1955—谷 田 庄 三
- 〈研究のしおり〉
金 融 論生 川 栄 治

- 収益価値に含まれる危険要素について辰 巳 明
- 中国における資本主義工商業改造の特質儀 我 壮一郎
- 〈資 料〉
東ドイツにおける国有工業企業会計について (一)一ノ瀬 秀 文
- 〈研究のしおり〉
貿 易 論平 岡 健太郎

- 公企業概念の吟味朽 木 清
- 〈資 料〉
東ドイツにおける国有工業企業会計について (二)一ノ瀬 秀 文
- 〈紹 介〉
機械の影響にかんするK. マルクスの小論向 笠 良 一
- 〈書 評〉
「オートメーションの経済学」について
—P. Einzig, "The Economic Consequences of Automation", 1956—内 海 義 夫
- 〈研究のしおり〉
商 業 論森 下 二次也

- 資本概念の吟味
—会計学的認識の特徴づけに関連して—白 井 佐 敏
- 工業における専門化について
—技術的發展にたいする一視角—笹 川 儀三郎
- 経営学の方法論的基礎
—個別資本研究序説—橋 博
- 〈研究のしおり〉
工 業 論上 林 貞治郎

第 29 号

(1957・7)

- 日本産業における企業系列 藤 田 敬 三
- 独占体の復活・支配と労働・生活条件
—西ドイツにおけるコンツェルン問題の考察— 上 林 貞治郎
- 〈紹介〉
ソヴェト統計学会議以後の統計学著作について 野 村 良 樹
- 〈研究のしおり〉
会計学研究のために 木 村 和 三 郎

第 30 号

(1957・9)

- 生産手段論—総論 原 光 雄
- 統計調査の社会性
—津村善郎氏の著書を読んで— 上 杉 正 一 郎
- 〈研究のしおり〉
社 会 保 障 近 藤 文 二

第 31 号

(1957・11)

- 個別生産工業と総合生産工業
—工業会計論序説— 堀 江 義 広
- 原価概念について
—ハイネンの所説によせて— 山 形 休 司
- 〈資 料〉
ソ同盟における短縮労働日への移行 内 海 義 夫
- 〈研究のしおり〉
日本簿記史の一コマ
—福沢諭吉と帳合の法— 木 村 和 三 郎

第 32 号

(1957・12)

- 原価諸概念の生成と展開
—財務会計と原価計算の関連を主題として— 白 井 佐 敏
- 日本における賃金法則の特質
—産業資本主義段階における労働力の価値の問題を中心として— 向 笠 良 一
- 電気料金論批判序説
—「公益事業」料金論批判(一)— 朽 木 清
- 〈研究のしおり〉
初めて経営管理論を学ぶひとのために 牛 尾 真 造

第 33 号

(1958・2)

- 会計の管理的性格について
—「管理会計」方法論序説— 辻 厚 生

- アメリカにおける近代的銀行業発展の系譜について
—アメリカ中央銀行成立前史— ……………谷 田 庄 三
- 〈資料〉
旧中国の対外貿易について ……………内 藤 昭
- ソ同盟鉄道における輸送迅速化の若干問題 ……………平 井 都 士 夫
- 〈研究のしおり〉
社会統計学(教養)・産業統計論(専門) ……………上 杉 正 一 郎

第 34 号 (1958・3)

- 生産手段論—各論 ……………原 光 雄
- 「財閥解体」とコンツェルン組織 ……………儀 我 壮 一 郎
- ソヴェト標準原価計算制度の生成過程 ……………一ノ瀬 秀 文
- 〈研究のしおり〉
労働科学について ……………内 海 義 夫

第 35 号 (1958・4)

- 組織体の過程的側面について
—フォレットの所論を中心として— ……………土 田 喜 市 郎
- 販売管理論の対象とその体系化について ……………山 本 朗
- 賃金形態と労務管理
—その歴史的考察— ……………橋 博
- 米国海運史研究
—第一次大戦以前— ……………柴 田 悦 子
- 〈資料〉
ソ同盟における経済指数理論の発展 ……………野 村 良 樹

第 36 号 (1958・6)

- いわゆる「マインド・インフレーション」について ……………川 合 一 郎
- 過渡期における剰余価値の法則
—中国の「定息」の本質をめぐって— ……………内 藤 昭
- 東ドイツ国有工業企業会計における棚卸資産評価の諸問題
—社会主義的原価管理と損益計算— ……………一ノ瀬 秀 文
- 〈研究のしおり〉
経営学を学ぼうとする人のために ……………牛 尾 真 造

第 37 号 (1958・8)

- 戦後の日ソ貿易について ……………寺 村 鉄 三
- 電気料金論における負荷率思考について
—「公益事業」料金論批判(二)— ……………朽 木 清

〈資料〉

「外国貿易からの利益」と「特化」＝「国際分業」

— J. Viner, "International Trade and Economic Development", 1953 を中心として — ……内 藤 昭

〈研究のしおり〉

日本産業論 ……古 畑 義 和

第 38 号

(1958・10)

生産関係と人間意志 ……原 光 雄

合衆国銀行とアメリカ信用制度

— アメリカ中央銀行成立前史(2) — ……谷 田 庄 三

東ドイツ国有工業企業会計における計画＝実際比較計算

— 企業内経済計算制と原価計算 — ……一ノ瀬 秀 文

〈研究のしおり〉

「財務諸表論」に寄せて ……堀 江 義 広

第 39 号

(1958・12)

中小企業論の方法について

— 独占資本と中小企業をめぐる理論的諸問題 — ……牛 尾 真 造

棚卸資産概念について ……堀 江 義 広

〈資料〉

ゼネラルモーターズ会社の分権管理 ……伊 藤 淳 巳

〈研究のしおり〉

保険論を研究する人びとのために ……近 藤 文 二

第 40 号

(1959・2)

Managerial Marketing の現代的性格について ……森 下 二次也

社会保険と国庫負担 ……近 藤 文 二

保険資本について ……金 子 卓 治

〈紹介〉

運輸経済学の対象と内容規定について ……平 井 都士夫

〈研究のしおり〉

商品学 ……原 光 雄

第 41 号

(1959・6)

続・Managerial Marketing の現代的性格について ……森 下 二次也

金融資本の概念とその発展について ……生 川 栄 治

〈資料〉

米国海運史研究(二)

— 第一次世界戦争から第二次世界戦争まで — ……柴 田 悦 子

〈研究のしおり〉
証券市場論 川 合 一 郎

第 42 号

(1959・8)

財務諸表脚注について 堀 江 義 広

米国原価計算発達史序説
—原価計算史方法論の検討をめぐる— 辻 厚 生

社会主義における生産量と輸送量との発展比率について 平 井 都 士 夫

〈研究のしおり〉
経済学 寺 村 鉄 三

第43・44・45号

(1959・11)

大阪市立大学創立10周年記念論文集

経営学における「学派」の分類について 牛 尾 真 造

投資危険と収益還元法
—ホスコールド法の修正公式について— 辰 巳 明

経営職能と経営組織
—P.F.Druckerの所説を中心として— 橋 博

商品流通・商業・商業資本 森 下 二 次 也

商業資本の管理について
—マーケティング管理の一側面— 山 本 朗

「労働過程抹消論」批判
—原光雄教授の生産手段論について— 内 海 義 夫

生産力と生産関係 原 光 雄

社会保険と保険技術 近 藤 文 二

保険利潤について 金 子 卓 治

創業利得と株式プレミアム
—創業利得論争によせて— 川 合 一 郎

機関投資の発展と資本形成
—西ドイツの場合— 生 川 栄 治

日本産業の国際競争力(序説) 古 畑 義 和

米ソ比較産業分類論 野 村 良 樹

外国貿易の必然性について 内 藤 昭

レーマンの生産性測定論 木 村 和 三 郎

貸借対照表完全性の原則 堀 江 義 広

損益計算思考の展開と複式簿記
—期間損益計算との関連を主題として— 白 井 佐 敏

- J.N.Gann の部門別計算について
 —19世紀末米国工業会計の一断面— …………… 辻 厚生
- 原価償却論についての一考察
 —メレロヴィッツの所説を中心として— …………… 山 形 休 司

第 46 号

(1960・1)

- 株式会社・独占体・国家独占資本主義
 —東ドイツにおける理論的討議の考察を中心として— …………… 上 林 貞治郎
- 管理的思考の展開と複式簿記
 —16世紀までのイタリー毛織物工業の会計について— …………… 白 井 佐 敏
- 自動的生産過程について
 —内海教授への反批判— …………… 原 光 雄
- 〈研究のしおり〉
 銀行論について …………… 生 川 栄 治

第 47 号

(1960・3)

- 若干の早期的マニュファクチュアにおける会計事情について …………… 白 井 佐 敏
- チェコスロヴァキアにおける社会主義会計制度の生成過程(成立前史)
 —1945年から1951年まで— …………… 一ノ瀬 秀 文
- 労働生産性向上と費用法則
 —〈伝統的費用理論〉への一つの疑問— …………… 飯 田 修 三
- 〈研究のしおり〉
 マーケティング …………… 森 下 二次也

第 48 号

(1960・5)

- 費用計画について …………… 伊 藤 淳 巳
- 西ドイツ貨幣市場の流動機構について …………… 生 川 栄 治
- ソヴェト連邦の工業生産指標 …………… 野 村 良 樹
- 〈資 料〉
 中国辺区における社会主義企業の先駆的諸形態
 —陝甘寧辺区の各種協同組合と公営企業— …………… 儀 我 壮一郎
- 〈研究のしおり〉
 技 術 論 …………… 笹 川 儀三郎

第 49 号

(1960・7)

- 経営費用論の新しい展開 …………… 伊 藤 淳 巳
- 東ドイツにおけるソヴェト型標準原価計算制度への移行 …………… 一ノ瀬 秀 文
- 動的貸借対照表論の問題点について …………… 山 形 休 司

- 〈資料〉
中国の第一次五カ年計画期における対外貿易 ……………内 藤 昭
- 〈書 評〉
海運金融にあらわれたわが国資本市場構造の特質
—岡庭 博『日本海運金融発達史』— ……………川 合 一 郎

第 50 号 (1960・9)

- マニュファクチュア段階における若干の工業簿記諸著作について ……………白 井 佐 敏
- 現代の資本主義的合理化に関する理論的考察 ……………向 笠 良 一
- 〈資料〉
マーケティングの実物供給機能について ……………森 下 二 次 也
- 〈書 評〉
エム・ヴェ・コルガノフ『国民所得—主題の歴史と理論の概要』 ……………野 村 良 樹
- 〈研究のしおり〉
企業形態論 ……………儀 我 壮 一 郎

第 51 号 (1960・11)

- 日本資本主義の構造的特質について
—方法論的反省— ……………古 畑 義 和
- 経営管理職能の形成過程 ……………橘 博
- 〈資料〉
半植民地中国の労働時間 ……………内 海 義 夫
- 〈研究のしおり〉
官公企業論 ……………朽 木 清

第 52 号 (1961・1)

- テイラーシステムの構成原理 ……………橘 博
- 輸送問題におけるフォーゲル略近解法について ……………辰 巳 明
- 現代日本資本主義の貿易構造 ……………古 畑 義 和
- 〈研究のしおり〉
管 理 会 計 論 ……………辻 厚 生

第 53 号 (1961・3)

- 東ドイツにおける経営経済学的研究の内容と特徴
—政治経済学・部門経済学・経営経済学の相互関連における考察— ……………上 林 貞 治 郎
- 中国における農業生産協同組合の特質 ……………儀 我 壮 一 郎
- 〈資料〉
アメリカにおける生命保険と消費者信用 ……………金 子 卓 治

U. S. Shipping Board
—海運国営形態の一例として— ……………柴田悦子

第 54 号 (1961・5)

労務管理と医療保険
—健康保険組合のあり方— ……………近藤文二
アメリカ対外直接投資の自己金融化傾向について ……………中西市郎
「技術者の会計」について ……………辻厚生
会計理論における社会会計的視角について
—プレイの "The Measurement of Profit" によせて— ……………山形休司
〈書評〉
テイラーシステムの再検討 ……………橘博
『日本統計発達史』 ……………野村良樹
『複式簿記発生史の研究』 ……………白井佐敏

第 55 号 (1961・7)

技術革新と労働時間短縮 ……………内海義夫
企業における管理組織の展開 ……………伊藤淳巳
収支計算と損益計算についての一考察 ……………山形休司
〈書評〉
H.Lazo & A.Corbin, *Management in Marketing*, 1961 ……………山本朗
V.Perlo, *USA & USSR: The Economic Race*, 1960 ……………寺村鉄三
相原茂編『現代日本の資本蓄積』 ……………古畑義和

第 56 号 (1961・9)

生産性の概念について ……………原光雄
商法上の財務諸表体系とその構成論理 ……………堀江義広
金融資本の概念について ……………谷田庄三
定期船市場における海運独占の一考察
—そのカルテル化・トラスト化を中心に— ……………柴田悦子
〈書評〉
藤本武著『最低賃金制度の研究』 ……………内海義夫

第 57 号 (1961・11)

職務給の基本的性格について ……………向笠良一
京都市営電気事業の創設目的とその現実的成果について ……………朽木清

〈資料〉

国際合弁企業への動向

- 低開発諸国むけ民間投資の問題点—中西市郎
 社会主義諸国における経済管理制度の改革ノ瀬秀文

第 58 号

(1962・1)

- 労働生産性について原光雄
 商法上の財務諸表体系とフランス商業条例堀江義広
 テイラーの課業設定論橘博
 京都市営電気事業の初期経営事情と経営目的の転換朽木清

〈書評〉

- 水島一也著『近代保険論』金子卓治

第 59 号

(1962・3)

- サヴァリーの財務諸表体系堀江義広
 テイラーの課業運用論橘博

〈資料〉

- 中ソ経済関係の発展とその特質内藤昭

第 60 号

(1962・5)

- 「最適労働時間」論の系譜内藤義夫
 創設期日本電気業における国家の役割と企業形態について
 —日本電気事業統制小史(1)—朽木清
 組織的行動と意思決定過程菅原正博

〈資料〉

- 中国の対人民民主主義諸国経済関係の発展とその特質内藤昭

第 61 号

(1962・7)

- 「最適労働時間論」への批判内海義夫
 最近の日ソ貿易について寺村鉄三
 国際短期資本移動の理論と現実中西市郎

〈書評〉

- S.B.Klaman, *The Postwar Residential Mortgage Market*,
 Princeton University Press, Princeton, 1961, pp.300.金子卓治

第 62 号

(1962・9)

- 中国農村人民公社の体制整備と管理機構儀我壮一郎

明治44年電気事業法制定前後における電気事業統制について
— 日本電気事業統制小史(2) —朽 木 清

原価思考展開過程の一断面
— シュマーレンバッハよりメレロヴィッツとグーテンベルクへ —山 形 休 司

〈書 評〉

G.ハーバラ, R.M.スターン編
『世界経済における均衡と成長—ヌルクセ論文集』1961年
*Equilibrium and Growth in the World Economy, Economic Essays by
Ragnar Nurkse, edited by Gottfried Haberler and Robert M. Stern,*
Harvard University Press, 1961, pp.380.中 西 市 郎

第 63 号 (1962・11)

社会主義の労働時間制度の特徴内 海 義 夫

現金の予測と管理
— 米国における貸金管理の新展開 —伊 達 陽

企業組織の意思決定過程菅 原 正 博

第 64 号 (1963・1)

労務管理とフリンジ・ベネフィット近 藤 文 二

中小企業の経済学的規定と経営学的類型伊 藤 淳 巳

社会保険と生命保険金 子 卓 治

〈書 評〉

日本経済新聞社編『金融白書』
(昭和37年度) — 引き締めから緩和へ — 昭和37年12月刊生 川 栄 治

第 65 号 (1963・3)

アメリカの対外証券投資とその金融機構
— 1920年代を中心として —中 西 市 郎

歴史的統計の課題と方法(一)野 村 良 樹

Einheitliche Kostenrechnung の思考について
— ルンメルの説によせて —山 形 休 司

第 66 号 (1963・5)

東ドイツにおける人民所有経営の成立と性質上 林 貞治郎

製品計画について山 本 朗

〈資 料〉

アメリカにおける任意健康保険についての一断面金 子 卓 治

第 67 号

(1963・7)

- ペイトン、リトルトンの動態理論宮 上 一 男
 東ドイツにおける工業企業管理制度の発展林 昭
 〈書 評〉
 海道 進・浅野 敏共著『賃金法則論』(ミネルヴァ書房 昭和38年6月刊)橘 博

第 68 号

(1963・9)

- 中国における国営企業と人民公社の特質儀 我 壮一郎
 社会主義の工業配置と輸送合理化
 — エネルギー経済を中心に —平 井 都士夫
 費用理論序説山 形 休 司

第 69 号

(1963・11)

- 賃金水準と労働時間水準
 — とくに時間外労働について —内 海 義 夫
 株式会社における自己金融の性格生 川 栄 治
 社会主義の工業配置と輸送合理化(2)
 — エネルギー経済を中心に —平 井 都士夫

第 70 号

(1964・3)

- 経営協議会・ソビエト株式会社・人民所有経営
 — 東ドイツにおける人民所有経営の成立過程の研究 —上 林 貞治郎
 アメリカの対外証券投資について中 西 市 郎
 クラッチ減価償却論の批判遠 藤 一 久

第 71 号

(1964・5)

- 企業間信用膨脹の意義について
 — 商業信用と信用制度 —川 合 一 郎
 〈資 料〉
 アメリカにおける任意健康保険と医療費
 — 任意健保の限界性 —金 子 卓 治
 社会主義交通の発展
 — オルロフ新著からの若干の断章 —平 井 都士夫

第 72 号

(1964・7)

- 生産関数における時間の問題山 形 休 司
 西ドイツにおけるAEGコンツェルンの復活と発展林 昭

アメリカの民間対外直接投資の二類型とその消長中西市郎

第 73 号 (1964・9)

中国における国営企業発展過程の特質儀我壮一郎

中国の対日貿易政策の特徴について内藤昭

〈資料〉

大阪港における交通の過密化について柴田悦子

〈書評〉

山本安次郎『経営学要論』(昭和39年9月 ミネルヴァ書房)上林貞治郎

第 74 号 (1964・11)

ソ連邦における国民経済の復興と交通計画

—ゴスプランにおける論争を中心に—平井都士夫

経営管理システムの基本問題に関する一考察橘博

〈資料〉

ポードンの広告効果論について山本朗

第 75 号 (1965・1)

東ドイツにおける経営史研究の内容と特徴上林貞治郎

金融政策の論理と構造川合一郎

チェコスロヴァキアにおける標準原価計算制度とその特徴について一ノ瀬秀文

国民経済の復興と交通計画

—ソ連邦ゴスプランにおける一経験—平井都士夫

第 76 号 (1965・3)

流通費用の資本化

—再び宇野教授の教えを乞う—森下二次也

金融資本と株式資本

—とくに岩田弘氏の所説との関連において—谷田庄三

〈資料〉

ヘンツェルの費用分析山形休司

第77・78・79号 (1965・6)

近藤 文二先生

木村和二郎先生

辰巳 明先生

退任記念論文集

アメリカの週5日労働制内海義夫

マーケティングにおける集散機能と需要創造機能	森 下 二次也
意思決定の過程	伊 藤 淳 巳
高度成長と金融理論	川 合 一 郎
管理通貨制度における金利効果	生 川 栄 治
原価配分理論の意義と限界 — AAA 棚卸資産意見書の起点 —	白 井 佐 敏
経営学体系への方法論的課題	川 崎 文 治
「ワールド・エンタプライズ」の金融的基礎	中 西 市 郎
「会計士の会計」の抬頭とその意義 — ハットフィールドとウェブナーの所説をめぐって —	辻 厚 生
国民経済計算の方法論の比較	野 村 良 樹
生産性会計論の発展方向	山 上 達 人
操業度について	山 形 休 司
中日貿易の必然性について	内 藤 昭
港湾における「広域行政」 — 大阪神港開発計画をめぐって —	柴 田 悦 子
近藤 文二先生 略歴・業績	
木村和三郎先生 略歴・業績	
辰巳 明先生 略歴・業績	

第 80 号

(1965・11)

西ドイツにおけるドイツ独占資本の復活過程 — 敗戦から朝鮮戦争までの時期を中心として —	上 林 貞治郎
現代日本におけるカルテルとその矛盾	儀 我 壮一郎
職場別原価計算について	山 形 休 司

第 81 号

(1965・12)

中国の国営企業における所有制と管理制度	儀 我 壮一郎
チウネン『孤立国』の性格	山 名 伸 作
On the Analysis of Balanced and Partially Balanced Block Designs	Goro Ishii and Junjiro Ogawa

第 82 号

(1966・3)

国債発行と金利装置 — 歯止め崩壊の必然性 —	生 川 栄 治
社会主義的工業化と「狭状価格差」問題	平 井 都 士 夫

〈資料〉
ソ連邦勤労者の生活時間調査内 海 義 夫

〈学界展望〉
ポーランドの経済学と生活野 村 良 樹

第 83 号 (1966・5)

西ドイツ独占資本の復活発展過程
—その主要問題を中心とする研究史的考察—上 林 貞治郎

F.W.テイラーの作業分析について橋 博

〈研究ノート〉
シェアの商業機能論について鈴 木 武

A Note on Likelihood Ratio TestGoro Ishii

第 84 号 (1966・7)

大阪経済の特徴に関する試論儀 我 壮一郎

F.W.テイラーにおける作業分析の展開と管理システムの整備橋 博

港湾における体制的「合理化」とその内容(一)柴 田 悦 子

第 85 号 (1966・9)

社会主義的工業化と鉄道運賃問題平 井 都士夫

生産費と生産速度
—ゲルバイラーの所説によせて—山 形 休 司

〈紹介〉
社会的費用論の検討
—K.W.カップの理論を中心に—宮 本 憲 一

〈研究ノート〉
1930年代のマーチャンダイジングの性格光 沢 滋 朗

第 86 号 (1966・11)

テイラーの作業分析論と作業統制論橋 博

港湾における体制的「合理化」とその内容(二)柴 田 悦 子

〈書評〉
大橋昭一著『ドイツ経営共同体論史』(昭和41年7月、中央経済社)上 林 貞治郎

第 87 号 (1967・1)

日本の医薬品工業に関する最近の問題点儀 我 壮一郎

分配関係と国民所得統計野 村 良 樹

〈資料〉

社会主義交通の配置問題

—ダニエロフの新著によせて— ……………平井都士夫

第 88 号 (1967・3)

マーケティング論体系化への途 ……………森下二次也

地方公営企業をめぐる経済的諸矛盾 ……………儀我壮一郎

経営的適応過程の諸問題

—コークス製造経営の例を用いて— ……………山形休司

〈書評〉

山中宏著『生命保険金融発展史』(昭和41年11月 有斐閣) ……………金子卓治

第 89 号 (1967・5)

企業会計上の原価と時価

—AAA会計原則の展開過程— ……………白井佐敏

中国における社会主義理論の若干の問題 ……………内藤昭

命題「最小2乗推定は許容的ではない」について ……………石井吾郎

第 90 号 (1967・7)

ソビエトにおける工場史研究の歴史的考察

—ソビエト「工場史」研究序説— ……………笹川儀三郎

経営的適応の理論 ……………山形休司

アメリカ、ドイツの工業経営における作業分析の形成と展開 ……………橘博

第 91 号 (1967・9)

国際通貨制度改革問題の動向と低開発諸国の役割 ……………中西市郎

地方公営企業の財政再建に関する一考察 ……………儀我壮一郎

〈資料〉

カール・ツァイス・イェーナ工場史

—1846年(発端)より1913年まで(第1次大戦まで)の時期について— ……………上林貞治郎

第 92 号 (1967・11)

チウネンの立地論について ……………山名伸作

戦後、アメリカ、西ドイツの工業経営における作業分析について ……………橘博

〈資料〉

ソビエトにおける「工場史」の任務と方法

—1930年代初期の若干の資料によせて— ……………笹川儀三郎

国民所得計算方式の比較

— SNAとMPS —野村良樹

第 93 号

(1968・1)

トリフィン教授の「アジア準備制度」構想と日本中西市郎

金融機関の「専門化」および「同質化」について

— 第二次大戦後の日本における一考察 —谷田庄三

〈資料〉

社会主義のもとでの都市交通問題

— ソ連におけるいくつかの経験 —平井都士夫

第 94 号

(1968・3)

中国の社会主義企業に関する若干の問題点儀我壮一郎

〈資料〉

変革期におけるモスクワ自動車工場

— 1916年(発端)から1924年春(復興・整備まで) —笹川儀三郎

給水危機における投資決定

— ニューヨーク市水道のケース・スタディ —朽木清

インド産業の生産性分析

— G・C・ベリーの所説によせて —山上達人

第 95 号

(1968・5)

地方公営企業会計と独立採算制

— その国家独占資本主義的構造について —ノ瀬秀文

旧中国対外貿易の基本的性格内藤昭

〈書評〉

最近における経営経済学の発展

— 若干の文献について —上林貞治郎

第 96 号

(1968・7)

資本主理論と実体理論

— 財務諸表連結の論理に関連して —白井佐敏

〈資料〉

カール・ツァイス・イエーナ工場史

— 世界経済恐慌(1929~1933年)の時期について —上林貞治郎

社会主義の基礎建設期におけるモスクワ自動車工場

— 1924年(最初の自動車生産)から1932年(第一次再建の完成)まで —笹川儀三郎

〈書評〉

角谷登志雄著『経営経済学の基礎—労務管理批判—』(昭和43年5月 ミネルヴァ書房)橋博

第 97 号

(1968・9)

- 電子計算機と会計情報システムの将来 山 形 休 司
 〈資 料〉
 マーケティング戦略について 山 本 朗
 インドの産業構造と企業支配
 —低開発国企業の分析方法をめぐって— 山 上 達 人

第 98 号

(1968・11)

- オーバー・ローンとインフレーション 生 川 栄 治
 海上コンテナ化と海運同盟 柴 田 悦 子
 〈資 料〉
 わが国における新製品計画—研究開発問題の概況とその理論的考察 橋 博

第 99 号

(1969・1)

- 交替制の若干の問題 内 海 義 夫
 社会主義的都市交通の計画原理 平 井 都 士 夫
 〈資 料〉
 現代日本の企業合同に関する若干の資料 儀 我 壮 一 郎

第 100 号

(1969・3)

- 工業経営における作業分析の理論的検討 橋 博
 〈資 料〉
 社会主義建設完成期におけるモスクワ自動車工場
 —1932年(第2次5ヵ年計画期開始)から1940年(大祖国戦争開戦)まで— 笹 川 儀 三 郎
 〈書 評〉
 風呂 勉著『マーケティング・チャネル行動論』 森 下 二 次 也

第101・102・103合併号

(1969・9)

20周年記念論文集 上 巻

- 大学問題の経済的背景 川 合 一 郎
 社会主義企業と経営経済学
 —ドイツ社会主義企業論への序説— 上 林 貞 治 郎
 西独管理論とアメリカ組織論の批判経営学的考察
 —「科学的管理批判」付論— 川 崎 文 治
 日本医薬品工業の現状と「外資系企業」の動向 儀 我 壮 一 郎
 発展途上国の企業分析について
 —パキスタンのジュート産業と財閥支配— 山 上 達 人

原価計算と意志決定	山形 休司
食糧輸入と大都市港湾 —東京港・大阪港を中心に—	柴田 悦子
第二次大戦前におけるフランス資本主義の分析視角 —いわゆる「高利貸的帝国主義」の規定をめぐる—	佐々木 建
創業者利得と擬制資本の論理	宮田 美智也
On Statistical Prediction Procedures	Goro Ishii

第104・105・106合併号

(1970・3)

20周年記念論文集 下 巻

労働強度について	内海 義夫
トラスト型合同「シグマ」の考察 —社会主義企業合同形態研究の一資料として—	笹川 儀三郎
A.ユーアの工場生産論について	橘 博
日中貿易 —回顧と展望—	平岡 健太郎
インフレーション会計に関する若干の覚書	白井 佐敏
戦後財政の危機と変貌	宮本 憲一
金融再編成と銀行資本	谷田 庄三
フランス金融資本成立過程をめぐる諸問題 —統計分析を中心として—	佐々木 建
南カリフォルニア水道事業のケース・スタディ	朽木 清
立地論と地域区分	山名 伸作
マーケティングにおける危険負担機能について	石原 武政
鉄鋼業におけるマーケティングの成立	今村 達生
米ソ比較産業分類の詳細	野村 良樹

第 107 号

(1970・5)

西ドイツ「石炭危機」の諸契機 —ECSC炭鉱業危機の一断面—	佐々木 建
〈書評〉 経営経済学における研究方法と研究内容の発展について —最近の若干文献を事例として—	上林 貞治郎
〈研究ノート〉 金本位制成立過程における『必然性』と『偶然性』 —イギリス金本位制について—	中島 将隆
The Management Pattern of Growing Medium Size Firms in Japan	Atsumi Ito

- 企業の自己金融とその資金源 広瀬雄一
 商業流通と一般的流通
 —宇野弘蔵編『資本論研究』V. 利子・地代(1968年)を読んで— 川合一郎
 イギリスの産業革命期の信用体系 宮田美智也
 〈研究ノート〉
 西ドイツ手工業の諸問題
 —中小企業問題への一接近— 佐々木佳代

- 国際労働時間法と日本労働時間法 内海義夫
 信用制度と株式会社 川合一郎
 フランス金融資本との戦後危機対応過程の基本論理
 —戦後フランス金融資本再編過程概説(1)— 佐々木建
 Development of Contractual Marketing Systems in Textile Industry
 in Japan Takemasa Ishihara

宮上一男先生 退任記念号
 広瀬雄一先生

- マーケティング論における使用価値の偏重 森下二次也
 大正期の成長構造とその崩壊過程
 —独占成立期の信用制度— 生川栄治
 SDRと開発金融のリンク問題
 —UNCTAD第二次専門家グループの報告を読んで— 中西市郎
 戦後日本における企業合同の特質 儀我壮一郎
 保険資本と相互会社 金子卓治
 わが国における経営理念の形成要因とその特質 橘博
 コンピュータと会計監査 山形休司
 西ドイツ炭鉱業の合理化政策の特質
 —ECSC炭鉱業危機の一断面(4)— 佐々木建
 市場危険とその転嫁および分担 石原武政
 西陣機業における織元と問屋 上林貞治郎
 —最近における具体的状況と若干の発展傾向の分析— 水津雄三
 宮上一男先生 略歴・業績
 広瀬雄一先生 略歴・業績

第 113 号

(1971・5)

- 金融資本と信用制度(1)生川栄治
 統計的線形模型における配置の良さについて石井吾郎
 〈研究ノート〉
 ニューディール期アメリカの法人所得課税の構造
 —「社会統制」課税形成の意義—遠藤宏一
 マルクス主義商業論と宇野商業論の亜流
 —公文道明氏の所説批判を中心として—加藤義忠

第 114 号

(1971・7)

- 経営経済学本質論の検討
 —個別資本概念の再吟味—橘 博
 金融資本と信用制度(2・完)生川栄治
 〈研究ノート〉
 現代フランスにおけるアメリカ独占企業
 —最近の実態およびその特徴・問題点について—藤本光夫
 アメリカの投資銀行と商業銀行佐合紘一

第 115 号

(1971・9)

- 「ドル本位制」の論理とその批判中西市郎
 競争手段としての製品差別化と市場細分化石原武政

第116・117・118合併号

(1972・3)

吉田 正三先生 退任記念号
 上林貞治郎先生

- 日本における鉄鋼合同の経営史的考察儀我壮一郎
 保険資本の性格金子卓治
 ソビエト社会主義工業企業管理におけるホズラスチョート制の深化
 —1930年代職場ホズラスチョート制について—笹川儀三郎
 高度成長と交通づくりの論理平井都士夫
 わが国における用水資源計画の諸問題橘 博
 社会資本論補修覚書宮本憲一
 労働貴族にかんする一考察向笠良一
 機械化・近代化基金と作業域の確保について
 —米国港湾スト(ILWU)の問題点—柴田悦子
 今日の金融再編成と中小企業金融の諸問題谷田庄三

- 西ドイツ炭鉱業における独占体支配構造の再編成(上)
 — ECSC 炭鉱業危機の一断面(5) —佐々木 建
 吉田 正三先生 略歴・業績
 上林貞治郎先生 略歴・業績

第 119 号 (1972・5)

- 産業構成の体制間比較方法について
 — ISIC と CNEB の比較調整試論 —野村良樹
 「フッガー家の時代」の南ドイツ商人資本について宮田美智也
 イギリス地方銀行の発券業務の衰退について
 — 1826年法と発券集中 —揚枝嗣朗

第 120 号 (1972・7)

- 「基本的会計理論」の展開山形休司
 〈研究ノート〉
 戦後フランス独占の復活・再編と労働者階級
 — 1947年の政変を中心として —玉村博巳
 資本の節約と貨幣の節約片岡尹

第 121 号 (1972・9)

- アメリカにおける伝統的作業管理論の展開橋 博
 〈研究ノート〉
 ソ連邦におけるコルホーズ的所有の発展と若干の問題点
 — 1950年代を中心として —岡田尚三
 生産的労働論と流通労働について小西一彦
 Some Notes on the Early Development of Budgetary Control Concept
 in the United States: C.U.Garpenter as a Pioneer in Business BudgetAtsuo Tsuji

第122・123・124合併号 (1973・3)

原 光雄先生 退任記念号
 平岡健太郎先生

- 弁証法の根本法則について原 光雄
 管理通貨と金融資本
 — 二つの「組織された資本主義」論 —川合一郎
 公企業と公私混合企業に関する一考察儀我壮一郎
 情報科学と会計山形休司
 アメリカにおける作業システム論の展開
 — 作業管理論の基本傾向に関する一分析 —橋 博

- 都市銀行の地位低下論について 谷 田 庄 三
- 「ド・ゴール体制」下におけるフランス金融資本の再編成の基本構造 (上)
 — 戦後フランス金融資本再編過程概説 (2) — 佐々木 建
- 原価計算における基本原則と計算原則との区別について 平 林 喜 博
- 原 光雄先生 略歴・業績

第 125 号

(1973・5)

- 西ドイツ炭鉱業における独占体支配構造の再編成 (下)
 — ECSC 炭鉱業危機の一断面 (6) — 佐々木 建
- 〈研究ノート〉
 投資銀行の機能とその限界
 — J.クック商会倒産の意義 — 佐 合 紘 一
- 内国為替相場の消滅について
 — 為替取引と信用制度 — 片 岡 尹
- わが国における独占的原糸生産企業の資本蓄積機構の特質
 — 合成繊維部門における蓄積基盤の確立と再編成 — 佐々木 憲 昭

第 126 号

(1973・7)

- 現代資本主義と信用理論 川 合 一 郎
- 新SNAの目的と方法について一考察 野 村 良 樹
- 国債価格支持政策の研究 (その一)
 — 戦後イギリスの事例 — 一ノ瀬 篤
- 〈研究ノート〉
 国有企業成立過程の諸類型に関する試論
 — 民主的国有化の場合を中心として — 玉 村 博 巳
- ドイツ貨幣改革とライヒスバンクの設立 松 田 清
- 銀行信用と信用創造 守 山 昭 男

第 127 号

(1973・9)

- 科学的管理法から現代管理論へ 伊 藤 淳 巳
- 「ド・ゴール体制」下におけるフランス金融資本の再編成の基本構造
 — 戦後フランス金融資本再編過程概説 (3) — 佐々木 建
- 国債価格支持政策の研究 (その二)
 — 戦後イギリスの事例 — 一ノ瀬 篤
- 〈研究ノート〉
 現代資本輸出分析と帝国主義論
 — 第三・四・五標識の意義を中心に — 毛 利 良 一
- 会計空間とサービス・ポテンシャル
 — 固定資産会計を手掛りとして — 狭 間 義 隆

イギリスにおける有限責任法の成立
 —「泡沫条例」以後の株式会社の発展—……………佐賀卓雄

第128・129・130合併号

(1974・3)

内海義夫先生 退任記念号

労働時間の二重構造……………	内海義夫
イギリスの認可組合制度について —社会保険と労務管理との癒着の考察のために—……………	小川喜一
労働市場と労働組合……………	吉村 励
家内労働における最低工賃……………	山本正治郎
イギリス1970年男女「同等賃金法」について……………	竹中恵美子
管理市場論序説……………	森下二次也
商業流通と一般的流通 —再生産との関連において—……………	川合一郎
世界インフレーションと現代資本主義……………	生川栄治
外国資産の国有化に関する若干の問題点……………	儀我壮一郎
貨幣価値の変動と経営分析 —「会計的利益」指標について—……………	山上達人
アソバット会計基準の展開過程……………	山形休司
ソ連の就業人口にかんする一推計……………	野村良樹
港湾労働の急激な変化と「港湾労働法一部改正案」をめぐって……………	柴田悦子
シュマーレンバッハの原価計算と部分原価計算……………	平林喜博
製品差別化と市場細分化再論……………	石原武政
内海義夫先生 略歴・業績……………	

第 131 号

(1974・5)

簿記理論と会計理論 —会計理論の特徴づけのために—……………	白井佐敏
DDRにおける経営経済学とWAO……………	川崎文治
〈研究ノート〉 日本の最終生産物統計について —ドブロビンスキー推計の批判—……………	桂昭政
商業信用と売り手の資本供給負担について……………	池野重雄
大正期の資本価値保存体制の一断面 —十五銀行=松方系諸企業の事例—……………	岩堀洋士
ペン・セントラル鉄道の倒産とニューヨーク金融資本 —1972年『銀行通過委員会報告』分析—……………	上田 慧

第 132 号

(1974・7)

- 日本の医療問題と医薬品工業 儀 我 壮一郎
 レーマンとパイザーの費用理論 平 林 喜 博
 〈資 料〉
 アイルランド共和国の地域開発 山 名 伸 作
 〈研究ノート〉
 アメリカ連邦補助金制度の確立
 —大恐慌下の地方財政危機と緊急補助金制度の登場— 保 母 武 彦
 商業信用に利子はつくか 守 山 昭 男
 Added Value Concept and Accounting Information Tatsundo Yamagami

第 133 号

(1974・9)

- 生産管理における技術開発・研究開発問題の歴史的考察 橋 博
 アメリカ金融資本における財務構造の展開
 —1920年代— 佐 合 絃 一
 〈研究ノート〉
 ルフチとヴァッター
 —会計学の系譜に関連して— 狭 間 義 隆
 イギリスをめぐる短期資本の移動とボンドの切下げ 松 本 昌 三
 ロンドン割引市場とロンドン残高 佐 賀 卓 雄
 〈資 料〉
 わが国における公立大学の現状と問題点 川 合 一 郎

第 134 号

(1974・11)

流通問題特集

- マーケティングの基礎 森 下 二次也
 製品のライフ・サイクル論について 山 本 朗
 価格政策と斉一的価格行動 石 原 武 政
 計画的陳腐化について 佐 々 由 宇
 運送費用論序説
 —流通費用解明のための予備的考察— 馬 場 雅 昭

第 135 号

(1975・1)

- 恐慌と利子の関係の問題点 生 川 栄 治
 付加価値会計報告書の構造 山 上 達 人
 情報システムの構造
 —データ構造について— 高 橋 敏 朗

為替相場と換算比率	片岡 尹
30年代の変動相場制とアメリカ為替安定基金 ——「管理された変動相場制」の一経験——	毛利 良一
〈研究ノート〉 信用の必然性と信用形態 ——一つの方法論的研究——	岸野 和郎

第 136 号

(1975・3)

環境問題の会計的側面	山形 休司
港湾における国家資本の位置づけをめぐって	柴田 悦子
〈研究ノート〉 堺・泉北臨海工業地帯造成と企業課税 ——社会的費用と課税原則——	遠藤 宏一
地域経済の不均等発展と地域問題・地域開発(1) ——地域的不均等理論の再検討と再確立の視点——	中村 剛治郎
国家独占資本主義下の相対的過剰人口の最近の諸特徴と国家の雇用政策の意義 ——「労働力流動化」政策の展開を中心として——	今田 治

第26巻 第1号(通巻第137号)

(1975・5)

流通と使用価値	森下 二次也
組織行動の論理	伊藤 淳巳
ソヴェト管理科学の動向	稲村 毅
〈研究ノート〉 日本金融資本と段階論分析について	岩堀 洋士
金融資産の累積と信用創造論 ——銀行論から証券市場論へ——	守山 昭男
昭和15年の税制改革と法人課税 ——法人課税強化と「臨時租税措置法」の登場——	石田 隆造

第26巻 第2号(通巻第138号)

(1975・7)

信用創造論から資産選択論へ ——信用論から利子うみ資本論へ——	川合一郎
価格先導制の分析次元	石原 武政
維新前の鉾毒諸事件について	加藤 邦興
〈研究ノート〉 財政需要の地域間格差と地域間財源配分問題 ——都市問題に対応するアメリカ連邦補助金制度の変貌——	保母 武彦
通貨投機下の先物為替市場介入 ——その理論と現実——	松本 昌三
Japan's Postwar Economy and Pollution Problems	Ken-ichi Miyamoto

第26巻 第3号 (通巻第139号)

(1975・9)

- 1950年代の生産管理論における研究開発管理論に関する理論的考察橋 博
- 原価計算と価格政策
—シュマーレンバッハの所説を中心に—平 林 喜 博
- 〈書 評〉
石田貞夫・東京銀行貿易投資相談所編『貿易取引 貿易と為替の基礎百科』
(改訂版) 有斐閣選書 昭和50年5月刊寺 村 鉄 三
- 〈研究ノート〉
生命保険における「資本」論
—従来「人間」論批判—池 野 重 男
- 計画的陳腐化と製品寿命佐 々 由 宇
- 大都市とコンビナート中 村 剛 治 郎

第26巻 第4号 (通巻第140号)

(1975・11)

- 「商業信用は信用制度の基礎である」ことをやめたのか
—商業流通と一般的流通—川 合 一 郎
- 環境認識と情報処理伊 藤 淳 巳
- 情報システムの構造
—プログラム構造について—高 橋 敏 朗
- 〈書 評〉
三上隆三著『円の誕生—近代貨幣制度の成立—』
東洋経済新報社版 1975年8月11日発行中 西 市 郎
- 〈研究ノート〉
「社会統制」の租税構造
—現代租税政策形成の一断面—遠 藤 宏 一
- 信用創造について藤 本 三喜男

第26巻 第5号 (通巻第141号)

(1976・1)

- 企業実体理論の展開
—ベイトン「会計理論」を中心に—白 井 佐 敏
- 婦人解放における主婦の位置づけ
—婦人論論争にふれつつ—柴 田 悦 子
- アメリカ合衆国における信用分析実務の登場について (一)西 田 博
- 〈研究ノート〉
General Motors 主導の陸運独占体系と鉄道再編成上 田 慧
- 信用制度における二つの論理岸 野 和 郎
- An Overall View of Science on Business OrganizationAtsumi Ito

第26巻 第6号 (通巻第142号)

(1976・3)

- 人的資源会計と管理会計 山形 休司
 ラグズ修正GNP概念について 野村 良樹
 為替取引と国際通貨問題
 — 為替銀行の規定をめぐって — 片岡 尹
 〈学会報告〉
 1975年国際経営学会をめぐって 川崎 文治
 〈研究ノート〉
 インドの合併企業における外国資本の支配 立山 柚彦
 「所得政策」とその擁護論についての批判的考察 日向 啓爾
 標準原価計算の先駆的文献
 — エマースンの標準原価論の一考察 — 福島 吉春

第27巻 第1号 (通巻第143号)

(1976・5)

- 数理統計学における半順序の応用半順序による単調尤度比 石井 吾郎
 ドイツ創造価値計算の展開方向
 — グレーブ「創造価値比較」について — 山上 達人
 経営環境論批判
 — 巨大企業経営の行動論的分析 — 橋 博
 コングロマリット合併と持分プーリング会計〔序説〕(上) 一ノ瀬 秀文
 〈研究ノート〉
 日本製糸業構造と金解禁問題 岩堀 洋士
 昭和15年の税制改革と地方分与税
 — 積極的財政金融政策と農村安定政策との地方財政構造を通ずる対立の「調整」手段として — 石田 隆造
 アメリカ多国籍企業・経営史の方法
 — M.ウィルキンズの研究をめぐって — 伊藤 裕人

第27巻 第2号 (通巻第144号)

(1976・7)

- イギリスの地域政策の動向 山名 伸作
 翻訳プログラムの構造 高橋 敏朗
 アメリカ合衆国における信用分析実務の登場について(二) 西田 博
 テイラー・システムの構造的特質 稲村 毅
 〈研究ノート〉
 アメリカ航空業の確立と金融資本 上田 慧
 商業独占の形態と市場支配 鈴木 武
 韓国の金融構造と証券市場 許 偉
 Foreign Enterprises in Japan and Japanese "Multinational Enterprises" Soichiro Giga

第27巻 第3号 (通巻第145号)

(1976・9)

商業資本における「不変資本」と「可変資本」	森 下 二次也
コングロマリット合併と持分プーリング会計〔序説〕(下)	一ノ瀬 秀 文
マーケティングと消費者需要 —その標準的考察—	石 原 武 政
金融資本への移行期におけるアメリカ鉄道会社の金融構造	佐 合 紘 一
〈研究ノート〉	
インドの石油産業の発展過程における政府と国際独占企業	立 山 柚 彦
1950年代後期アメリカ鉄道業の衰退について —1961年『ドイル報告』を中心に—	野 田 秋 雄
都市の公共事業と起債 —1920年代アメリカを中心として—	山 田 明

第27巻 第4・5・6合併号 (通巻第146・147・148合併号)

(1977・3)

森下二次也先生 退任記念号

擬制資本の金融論と貨幣数量説	川 合 一 郎
問題解決とシミュレーション	伊 藤 淳 巳
管理通貨制度の必然性	生 川 栄 治
財産計算と損益計算 —「動的貸借対照表論」第3版への展開を中心に—	白 井 佐 敏
資本主義企業の指導原理 —藻利重隆教授の所論を中心に—	川 崎 文 治
区分損益計算と付加価値計算書	山 上 達 人
ソーシャル・リポーティング	山 形 休 司
最近におけるソビエト工業管理の動向	笹 川 儀三郎
イギリスニュータウン計画の進化	山 名 伸 作
船員家族の生活ならびに生計費の特質 —口ノ津、神戸地区における実態調査報告—	柴 田 悦 子
製品計画論の成立と展開	山 本 朗
金融機関の社会的役割について	谷 田 庄 三
費用分解の方法について	平 林 喜 博
マーケティングと競争的使用価値	石 原 武 政
情報の経済価値と価値	高 橋 敏 朗
国際決済に関する覚書	片 岡 尹
技術論の基礎的諸概念	加 藤 邦 興
互惠取引の基本的性格	中 野 安

- Some Characteristics of the Japanese "Multinational Enterprise".....Soichiro Giga
 森下二次也先生 略歴・業績

第28巻 第1号 (通巻第149号)

(1977・5)

- ソ連の「統計出版物文献目録」への一評価野村良樹
 明治期前半の公害事件加藤邦興
 Economic Policy for Environmental ProtectionKen-ichi Miyamoto
 Analytical Viewpoints for Marketing Activities.....Takemasa Ishihara
 〈研究ノート〉
 スタグフレーションと株式市場
 —資本蓄積機構変容の証券市場への影響について—岸野和郎
 1926年におけるイギリス電力業再編成
 —イギリス公企業形成史の一側面—浜川一憲
 Some Industrial and Management Problems in Under Developed Countries
Palitha Randeniya

第28巻 第2号 (通巻第150号)

(1977・7)

- 不偏推定量の分散の下限と分布の特徴づけ
 —バックチャリヤの限界—石井吾郎
 現代日本における社会主義企業研究儀我壮一郎
 70年代初期における米国不動産企業と合併会計一ノ瀬秀文
 〈資料〉
 『三菱社誌』にみる明治・大正期の長崎造船所の原価計算
 —三菱造船所の原価計算に関する史的研究(1)—平林喜博
 〈研究ノート〉
 国際染料カルテルと Du Pont伊藤裕人
 H.S.Garry の「ユニット・システム」論について
 —管理会計史における若干の検討—福島吉春
 共同経済構想の構造と意義
 —国家独占資本主義体系の先駆的一形態—松葉正文

第28巻 第3号 (通巻第151号)

(1977・9)

- スタグフレーションと財政金融政策
 —フロートと「ゲームのルール」—川合一郎
 イギリスの付加価値計算書ディスクロージャ山上達人
 埠頭の専門的利用について柴田悦子
 唯物論研究会初期の生産力論論争加藤邦興

- 〈研究ノート〉
 現代金融市場の論理構造・序説
 —証券市場の「転倒」と内生的過剰流動性の運動— ……岸野和郎
 1950年代アメリカにおける都市通勤鉄道の危機 ……野田秋雄
 両大戦間アメリカの公共事業の変貌
 —都市の公共事業計画化を中心として— ……山田明

第28巻 第4号 (通巻第152号)

(1977・11)

- 「日本的経営」について ……伊藤淳巳
 現代資本主義国と少数者集団
 —欧米の場合— ……山名伸作
 アメリカ経営管理論の生成 ……稲村毅
 アメリカ鉄道業における独占形成と財務構造の展開
 —いわゆる「モルガン化政策」(“Morganization”)の意義— ……佐合紘一
 〈資料〉
 社会主義の生産関係システムについて
 —C.B. Солодковаの所説— ……笹川儀三郎

- 〈研究ノート〉
 昭和恐慌以後の地主制と財政との関係についての基礎的考察
 —資本制・地主制両ウクラードと財政との関連の段階的变化を基軸として— ……石田隆造
 ナチス政府の鉄鉱石アウトルキー政策とドイツ鉄鋼独占企業
 —第2次4ヶ年計画下の両者の「親和関係」の評価をめぐって— ……豊島勉
 The New Community Development in Korea ……In Ho, Park

第28巻 第5号 (通巻第153号)

(1978・1)

- 中央銀行・金属準備・再生産 ……生川栄治
 資本輸出と低開発
 —国際経済学会第36回全国大会報告によせて— ……中西市郎
 国際会計の問題点 ……山形休司
 経営管理論史におけるファヨールとチャーチ ……稲村毅
 〈研究ノート〉
 韓国における金融の二重構造について ……許 偉
 イギリス電力業の構造的再編成 ……浜川一憲
 ピール条例の理論的根拠と現実的根拠
 —古典派経済学と中央銀行政策— ……入江恭平

第28巻 第6号 (通巻第154号)

(1978・3)

- ゴットリーブの簿記書
 —ドイツ簿記の特質について— ……白井佐敏

企業・経営論の基礎範疇について —支配論序説(1)—	川崎文治
国際収支調整理論の学説史的一検討	片岡 尹
〈資料〉	
明治・大正期の長崎造船所の原価計算勘定について —三菱造船所の原価計算に関する史的研究(2)—	平林喜博
〈研究ノート〉	
ケインズにおける「証券市場」理論の位置	二上 清
信用インフレーション序論	斎藤 正

第29巻 第1号 (通巻第155号)

(1978・5)

計画の評価と選択	伊藤 淳 巳
企業・経営論の基礎範疇について —支配論序説(2)—	川崎文治
近代日本における商業・経済発展と人材育成(一) —旧制三商大比較史前史—	橋 博
コンピュータ・システムの評価	高橋 敏 朗
〈研究ノート〉	
財政投融资の検討	保母 武 彦
第一次大戦前におけるイングランド銀行と英国金本位制	藤本 三喜男
日本における資本形成・資本調達勘定の推計(1955年~1975年)	土居 英 二

第29巻 第2号 (通巻第156号)

(1978・7)

イタリア簿記の展開 —パチョリ、イムピン、シュヴァイカー—	白井 佐 敏
ドルの政治経済学 —C.F.バーグステンの国際通貨論とその批判(上)—	中西 市 郎
社会的測定の手法と事例	山形 休 司
ソヴェト管理科学の発展	稲村 毅
〈研究ノート〉	
社会化構想の諸類型(1) —ワイマル期経済政策序論—	松葉 正文
公共事業の構造変化と景気対策	山田 明
産業再編成公社(IRC)の意義	浜川 一 憲

第29巻 第3号 (通巻第157号)

(1978・9)

合理化における即自と対自 —「経営参加」・「自主管理」論のために—	川崎文治
--------------------------------------	------

近代日本における商業・経済発展と人材育成 (二)		
—旧制三商大比較史統編—	橘	博
資本主義的管理の二重性		
—篠原三郎氏の二重性論をめぐって—	稲村	毅
Carnegie 会社における生産構造の展開		
—鉄鋼一貫体制から混合経営体制へ—	佐合	紘一
IG Farben の国際経営戦略	伊藤	裕人
〈研究ノート〉		
DDR における独占グループ研究の諸問題		
—ゴスヴァイラー説の検討—	豊島	勉
1970年代英国における鉄道貨物輸送問題	野田	秋雄
フランス鉄鋼業における独占形成	安部	誠治

第29巻 第4・5合併号 (通巻第158・159合併号)

(1979・1)

川崎文治先生 退任記念号

株式会社論争によせて	川合	一郎
アメリカ経営学の展開	伊藤	淳巳
ドルの政治経済学		
—C.F.バーグステンの国際通貨論とその批判(下)—	中西	市郎
イギリスの会計報告書の実態		
—付加価値計算書の開示例を中心として—	山上	達人
予算統制の行動科学的側面	山形	休司
アメリカ地域政策の展開	山名	伸作
近代日本における商業・経済発展と人材育成 (三)		
—旧制三商大比較史後半史—	橘	博
港湾情報システムの実態と問題点	柴田	悦子
マーケティングのメタ理論と一般理論	山本	朗
流通経路支配と抱き合せ販売	石原	武政
事務管理と情報管理	高橋	敏朗
1920年代の経営管理論	稲村	毅
Carnegie 会社における支配構造と財務構造の展開	佐合	紘一
The Strategy of the U.S.-Based Multinational Enterprise	Soichiro Giga	
川崎文治先生略歴・業績		

第29巻 第6号 (通巻第160号)

(1979・3)

交互計算信用と発行業務 (1)		
—独占期の銀行信用と擬制資本—	生川	栄治

ドイツ簿記と代理商簿記 — グラマテウスとメンヘル —	白井佐敏
社会主義諸国の原価計算制度の相違の認識 — ソ連と東ドイツの標準原価計算を中心にみた —	ノ瀬秀文
「今後における金融機関のあり方」の問題	谷田庄三
国際通貨試論 — 不換ドルの流通根拠について —	片岡尹
〈研究ノート〉 ケインズにおける金融政策の構想 — 『貨幣論』から『一般理論』へ —	入江恭平
総合商社の存立構造 — 商社論の枠組み —	河原畑修二
有効需要創出政策について — 現代資本主義の運動法則の一側面 —	斉藤正

第30巻 第1号 (通巻第161号)

(1979・5)

現代ソビエトの工業管理構造の動向	笹川儀三郎
合衆国における「株式水増」財務統制と公開制 (一)	西田博
モチベーション論の生成	稲村毅
交互計算信用と発行業務 (2) — 独占期の銀行信用と擬制資本 —	生川栄治
〈研究ノート〉 中小零細企業の階層変動分析の基礎視角 — 高蓄積期を対象に —	日向啓爾
経営財務政策と証券市場 — いわゆる『資本不足』について —	二上清

第30巻 第2号 (通巻第162号)

(1979・7)

資本主義の生成と複式簿記 — 16世紀会計史研究の一視角 —	白井佐敏
Federal Steel Co. の財務構造	佐合紘一
〈資料〉 アメリカ商務省NIPA'sの改訂について	野村良樹
長崎造船所の製造勘定成立過程について — 三菱造船所の原価計算に関する史的研究 (3) —	平林喜博
〈研究テーマ〉 Siemens-Rheinlbe-Schuckert-Union の成立	松葉正文
1930年代前半におけるわが国電力業の展開 — 重化学工業化との関連で —	梅本哲世
中国国営企業の発生・形成・発展とその管理について	張壁東

The Relation between Japanese Way of Management and
of Information HandlingToshiro Takahashi

第30巻 第3・4合併号 (通巻第163・164合併号)

(1979・11)

大阪市立大学商学部30周年記念論文集

金融資本の論理構造	生川 栄 治
ガムマースフェルダの簿記書	白井 佐 敏
「新興工業諸国」の経済発展と「対外債務累積問題」	中市 市 郎
交通経済学の体系化について	平井 都士夫
イギリス公表財務諸表の実情 — 勅許会計士協会の「実態調査」を中心に —	山 上 達 人
科学技術管理研究序説 — ソビエトの科学技術進歩の管理システム —	笹 川 儀三郎
管理システム論の比較的考察 — システム論研究試論 —	橘 博
国際労使関係の分析視点	佐々木 建
明治・大正期の長崎造船所の材料費計算について	平 林 喜 博
垂直的価格政策と経路支配 — 業者割引と数量割引の研究 —	石 原 武 政
経営組織論の生成	稲 村 毅
足尾銅山の近代化と鉍毒事件の発生	加 藤 邦 興
Some Conflicts Between the Japanese Multinational Corporations and Host Countries	Soichiro Giga
The Characteristic Features of Japanese Pollution Problems	Ken-ichi Miyamoto

第30巻 第5・6合併号 (通巻第165・166合併号)

(1980・3)

川合一郎先生 追悼論文集

個人行動と組織行動	伊 藤 淳 巳
決算様式の進化について — ビールとガムマースフェルダ —	白井 佐 敏
ユーロダラー市場の発展とその規制	中市 市 郎
モーリィの付加価値計算書論	山 上 達 人
企業社会報告の現状	山 形 休 司
ソビエトの科学生産合同について	笹 川 儀三郎
土地利用の競合	山 名 伸 作

近代日本における商業・経済発展と人材育成(四)

—旧制三商大比較史“大学”編—	橋	博
アメリカ国民所得推計抄史	野村良樹	
イギリス港湾の実態と問題点	柴田悦子	
アメリカにおける会計的ディスクロージャー制度の危機	一ノ瀬秀文	
銀行制度改革の諸問題	谷田庄三	
『資本論』と保険		
—保険ファンド論を中心に—	金子卓治	
多国籍企業と国際労働組合運動の対応	佐々木建	
米国無額面株式制度展開の一考察		
—『株式水増』問題との関連において—	西田博	
アメリカ・ブリキ会社の成立と資本化政策	佐合紘一	
為替相場をめぐる諸問題	片岡尹	
1920年代のアメリカにおける資本蓄積と証券市場	藤本三喜男	
資産選択理論について		
—擬制資本論における蓄積論—	斉藤正	
イギリス初期鉄道会社の創業と金融		
—その「地方的性格」について—	樋口克次	
銀行行動についての一考察		
—「利潤極大化」仮説と「シェア維持ないし拡大」仮説をめぐる—	米田貢	
川合一郎先生 略歴・業績		
大阪市立大学商学部葬		

第31巻 第1号(通巻第167号)

(1980・5)

ピール簿記書の展開	白井佐敏	
企業経営の史的分析と歴史認識(1)		
—一つの仮説的覚悟—	佐々木建	
伝統的組織論の展開		
—ムニー=レイリーの組織論—	稲村毅	
小坂鉦山煙害事件(上)	加藤邦興	
〈書評〉		
角谷登志雄著『科学としての経営学—変革期におけるその課題と方法—』		
1978年 青木書店	橋	博
70年代アメリカ株式市場の構造的特質について		
—Two-Tier Marketを中心に—	二上清	
戦前宮崎県における電気事業の展開	梅本哲世	

第31巻 第2号 (通巻第168号)

(1980・7)

ピールの損益計算思考について	白井佐敏
企業経営の史的分析と歴史認識(2) ——一つの仮説的覚悟——	佐々木 建
流通系列化の基礎条件	石原武政
伝統的組織論における「人間要素」の問題	稲村 毅
小坂鉱山煙害事件(下)	加藤邦興
中国における企業管理の改善と賃金決定の原則 ——労働に応ずる分配原則をめぐる若干の考察——	張 壁 東
寡占的金融市場における需給メカニズムについて	米田 貢

第31巻 第3号 (通巻第169号)

(1980・9)

激動期の日本「多国籍企業」	儀我壮一郎
アメリカ国民所得推計抄史(2)	野村良樹
企業経営の史的分析と歴史認識(3) ——一つの仮説的覚悟——	佐々木 建
メイヨーの人間関係論	稲村 毅
U.S.スチール会社の独占体制と財務政策(1)	佐合 紘一
株式会社論における「所有と機能」	樋口克次
アメリカにおける自己金融の発展	服部泰彦

第31巻 第4・5・6合併号 (通巻第170・171・172合併号)

(1981・3)

古畑義和先生
寺村鉄三先生 退任記念号
金子卓治先生

システムとしての人間の行動	伊藤 淳 巳
日本金融政策の100年	生川 栄 治
創造価値計算とその利用領域 ——H.K.グェーバーの所説を中心として——	山 上 達 人
商業資本の立地について	山 名 伸 作
固定費の概念および本質理解に関する一考察	平 林 喜 博
機能割引問題の史的経緯 ——機能割引の法的地位を中心として——	石 原 武 政
経営情報システムの再検討	高 橋 敏 朗
レスリスパーガーの人間関係論	稲 村 毅

U.S.スチール会社の独占体制の展開 — U.S.スチール会社の独占体制と財務政策(2) —	佐合 紘 一
繊維産業の海外投資の構造と特質 — 合繊産業を中心として —	河原畑 修 二
Product Planning in Marketing	Akira Yamamoto
Adaptive Confidence Intervals for Location Parameters	Ryozo Miura
古畑義和先生 略歴・業績	
寺村鉄三先生 略歴・業績	
金子卓治先生 略歴・業績	

第32巻 第1号 (通巻第173号)

(1981・5)

日本自動車産業の現状と動向に関する一考察	橋 博
フォレットの政治思想と管理論(1)	稲 村 毅
フランス公企業の最近の動向 — ノラ報告後の上からの公企業改革を中心に —	安 部 誠 治
〈資 料〉 「ソ連国民経済統計年鑑」についての覚書	野 村 良 樹
戦前九州地方における電気事業 — 1920年代・30年代前半を中心に —	梅 本 哲 世
社会的責任会計に対する行動科学的アプローチ	上江洲 由 正
The Limit of Inflation Policy — A Theory on Stagflation —	Tadashi Kataoka

第32巻 第2号 (通巻第174号)

(1981・7)

1970年代における医薬品産業の諸問題	儀 我 壮一郎
海運同盟をめぐる競争の新局面	柴 田 悦 子
ソフトウェア工学序論	高 橋 敏 朗
フォレットの政治思想と管理論(2)	稲 村 毅
U.S.スチール会社の独占体制と財務政策(3)	佐 合 紘 一

第32巻 第3号 (通巻第175号)

(1981・9)

近畿の水資源と琵琶湖・淀川の水量・水質問題	橋 博
ウィッスラー管理論の構造と特質	稲 村 毅
モネ・プランとフランス公企業・国有部門(上)	安 部 誠 治
ヒルファーディング『金融資本論』批判	米 田 貢
工場管理近代化と技術者 — 米国19世紀末~20世紀初頭の企業内管理者養成 —	広 瀬 幹 好

〈資料〉

集团的労働組織形態研究序説

—「ブリガダ」の資料的紹介— ……笹川 儀三郎

第32巻 第4号 (通巻第176号)

(1981・11)

変動相場制の世界における発展途上諸国 ……中西市郎

イギリス公表財務諸表の動向

—「コーポレート・レポート」の展開について— ……山上 達人

オフィス・オートメーション—その機能と問題点 ……高橋 敏朗

モネ・プランとフランス公企業・国有部門(下) ……安部 誠治

金融資本における銀行の役割 ……服部 泰彦

〈書評〉

山下高之著『近代的管理論序説—テイラー・システム批判』を讀んで ……笹川 儀三郎

第32巻 第5号 (通巻第177号)

(1982・1)

経営分析と付加価値指標

—E.G.ウッドの『イギリスの産業—その業績比較』をめぐって— ……山上 達人

1920年代米国における公益事業持株会社および投資信託の設立財務

—ワラントまたはオプションをめぐって— ……西田 博

時価発行制度と自己資本充実 ……樋口 克次

〈資料〉

集团的賃金の配分方法について

—ブリガダの資料的紹介— ……笹川 儀三郎

〈書評〉

山下正喜著『日本とアメリカの原価計算—明治末期—』を讀む ……平林 喜博

第32巻 第6号 (通巻第178号)

(1982・3)

アメリカ国民所得推計抄史(3) ……野村 良樹

流通系列化における優越的地位の濫用規制 ……石原 武政

プロジェクト管理の概要 ……高橋 敏朗

コンティンジェンシー理論の一考察 ……稲村 毅

ソ連経済改革と企業合同の展開

—73年管理機構改革との関連で— ……音羽 周

第33巻 第1・2合併号 (通巻第179・180合併号)

(1982・7)

伊藤 淳巳先生

平井都士夫先生

退任記念号

社会貸借対照表と創造価値計算

—ドイツ創造価値計算の新しい展開— ……山上 達人

ドイツ「社会貸借対照表」の一例 — シェル社の場合について —	山形 休司
社会構造と階級標識の諸問題 — ソビエト企業の研究のために —	笹川 儀三郎
琵琶湖環境保全をめぐる諸問題 — 滋賀県・琵琶湖富栄養化防止条例制定にいたるまでの経過を中心として(一) —	橘 博
外貿埠頭公団廃止に関する問題点 — コンテナ埠頭の管理運営形態転換をめぐる —	柴田 悦子
イギリスにおける巨大会計事務所の形成 — Ernst & Whinney のばあい —	一ノ瀬 秀文
中小企業金融専門機関の法律改正問題	谷田 庄三
情報技術の経営管理に及ぼすインパクト	高橋 敏朗
スペーシング法による順位統計量の効力推定	三浦 良造
レドゥールの経営学	岡本 人志
伊藤 淳巳先生 略歴・業績	
平井都士夫先生 略歴・業績	

第33巻 第3号 (通巻第181号)

(1982・9)

転換期における公企業	儀我 壮一郎
日本統計発達史と大阪市社会部『労働調査報告』(上)	野村 良樹
組織構造のコンティンジェンシー理論 — 組織の環境適応論の一考察 —	稲村 毅
戦前日本における電力政策と水主火従主義	梅本 哲世
金融独占の解明のために	米田 貢
現代日本の株式市場と企業集団 — 銀行の新たな役割 —	服部 泰彦
〈資料〉 米国のショッピングセンター — LAMA を中心として —	山本 朗

第33巻 第4号 (通巻第182号)

(1982・11)

ドイツ社会関連会計の基礎構造 — その特徴づけと体系化によせて —	山上 達人
商業資本の自立性と社会性	石原 武政
独占形成・確立期におけるフランス鉄鋼業(1)	安部 誠治
標準原価計算発達史の一考察 — G.C.Harrison を中心として —	和田 淳三
イギリス付加価値会計の概念的特質	水野 一郎

第33巻 第5・6合併号(通巻第183・184合併号)

(1983・3)

儀我壮一郎先生
笹川儀三郎先生 退任記念号

ニューヨーク市財政の再建をめぐる	宮本憲一
日本統計発達史と大阪市社会部『労働調査報告』(下)	野村良樹
海運同盟をめぐる競争と規制	柴田悦子
金融再編成の新展開と銀行労働	谷田庄三
資本主義と社会主義における国際分業について	内藤昭
分散情報処理システム —その機能と問題点—	高橋敏朗
米国ビジネス・スクールの生成	稲村毅
大正期における製錬所設置反対運動	加藤邦興
経営経済学の原流と管理の問題	岡本人志
独占形成・確立期におけるフランス鉄鋼業(2)	安部誠治
工業合同についての一考察 —グラフクの「ホズラスチョート」移行を中心に—	音羽周
儀我壮一郎先生 略歴・業績	
笹川儀三郎先生 略歴・業績	

第34巻 第1号(通巻第185号)

(1983・5)

貨幣の前貸と資本の前貸	生川栄治
琵琶湖環境保全をめぐる諸問題 —滋賀県・琵琶湖富栄養化防止条例制定にいたるまでの経過を中心として—(二)	橋博
別子銅山煙害事件(上) —製錬工程の新居浜への進出と煙害の問題化—	加藤邦興
70年代米国証券市場における株価形成について(1)	佐賀卓雄
電気事業報償契約についての一考察 —戦前の大阪市を素材として—	梅本哲世

第34巻 第2号(通巻第186号)

(1983・7)

ハットフィールドの損益計算論について	白井佐敏
ドイツ社会関連会計と社会指標思考 —M.ディールケスの所説をめぐる—	山上達人
別子銅山煙害事件(下) —四阪島製錬所煙害問題—	加藤邦興

2 種類の系列融資

—三井、三菱、住友系列の場合— ……………米 田 貢

第34巻 第3号 (通巻第187号)

(1983・9)

為替相場と外国貿易

—変動為替相場の研究(1)— ……………片 岡 尹

株式オプション価格理論と最適停止問題：概観 ……………三 浦 良 造

70年代米国証券市場における株価形成について(2) ……………佐 賀 卓 雄

銀行と証券会社

—企業取引を媒介とした関係— ……………服 部 泰 彦

ロシア私有鉄道資本の形成 ……………西 村 弘

〈資 料〉

オフィス・オートメーションの実態

—大阪商工会議所のOA実態報告書を中心として— ……………高 橋 敏 朗

第34巻 第4号 (通巻第188号)

(1983・11)

琵琶湖環境保全策の制定とその後の経過について ……………橋 博

いわゆる「便宜置籍船問題」について ……………柴 田 悦 子

臨調路線下の国鉄再編成の現局面

—「59・2ダイヤ改正」と貨物輸送問題を中心に— ……………安 部 誠 治

計画化と管理

—ホズラスチョートの計画化方式について— ……………音 羽 周

付加価値管理会計論序説 ……………水 野 一 郎

標準原価計算発達史の一考察(2・完)

—G.C.Harrisonの原価差異分析について— ……………和 田 淳 三

〈書 評〉

石井淳蔵著『流通におけるパワーと対立』 ……………石 原 武 政

〈書 評〉

S.L. Hayes et al., *Competition in the Investment Banking Industry* ……………佐 合 絃 一

第34巻 第5・6合併号 (通巻第189・190合併号)

(1984・1)

白井 佐敏先生

—ノ瀬秀文先生

退任記念号

国際金融不安と先進工業諸国 ……………中 西 市 郎

ドイツ社会関連会計の現状と課題

—会計目的の変化と開示内容の拡充をめぐる— ……………山 上 達 人

インフレーションと会計 ……………山 形 休 司

資本主義の構造変化と財政危機 ……………宮 本 憲 一

金融業における競争と規制	谷田庄三
ロブニツ造船所の帳簿資料 Balance について	平林喜博
米国におけるプロモーター利得としてのワラントまたはオプションの考察	西田博
管理労働と生産的労働	稲村毅
アメリカ工業証券市場の成立過程について —Navin & Searsの見解の再検討—	佐合紘一
阪神工業地帯の工業的・技術的構造分析への序論	加藤邦興
日本鉄鋼業の発展と鉄鋼生産計画	安井國雄
戦後日本の企業金融と社債市場	佐賀卓雄
白井 佐敏先生 略歴・業績	
一ノ瀬秀文先生 略歴・業績	

第35巻 第1号 (通巻第191号)

(1984・5)

商業信用と銀行信用	生川栄治
アメリカ国民所得推計抄史(4)	野村良樹
構造論的コンティンジェンシー理論とマイクロ組織論	亀田速穂
〈資料〉 南アフリカ資本主義論ノート(1)	佐々木 建

第35巻 第2号 (通巻第192号)

(1984・7)

擬制資本と証券市場	生川栄治
社会関連会計と社会的利益の計算 —アメリカの企業社会会計の特質をめぐって—	山上達人
米国におけるプロモーター利得としての ワラントまたはオプションの考察(二・完)	西田博
「只乗り」理論と流通系列化	加藤司
証券市場の発展と証券独占 —銀行と証券の相互関係—	服部泰彦
〈資料〉 人民幣の対外為替相場と中国の為替管理 —中国人民銀行教科書編纂委員会刊『国際金融概論』1982年版、抄訳(上)—	中西 市郎監修 許 少強 訳

〈書評〉 渡辺 峻著『現代銀行企業の労働と管理』 —オフィス・オートメーションとホワイトカラーに関する経営経済学的研究—	谷田庄三
--	------

第35巻 第3号 (通巻第193号)

(1984・9)

会計目的と目的適合性	山形休司
------------------	------

オフィス・オートメーションは組織の コミュニケーション・プロセスにいかなる影響を及ぼすか？	高橋敏朗
アメリカ鉄道財務とイギリスの対アメリカ鉄道投資 —1893年恐慌まで— (上)	佐合絃一
70年代米国証券市場における株価形成について (3)	佐賀卓雄
後進資本主義国における鉄道政策の転換点 —日本およびロシア鉄道発展の比較考察—	西村弘
〈資料〉	
中国の外資利用問題 —中国人民銀行教科書編纂委員会刊『国際金融概論』1982年版、抄訳(下)—	中西市郎監修 許少強訳

第35巻 第4号 (通巻第194号)

(1984・11)

港湾行政の変化と港湾の『再編』	柴田悦子
日本貿易の発展と日中経済関係	内藤昭
外国為替の基礎理論	片岡尹
販売の偶然性と商業資本の自立化	加藤司
国際通貨論の一検討 —Vehicle Currencyを中心に—	西倉高明
西ドイツにおける社会関連会計の形成と展開 —『従業員関連報告』としての特徴と本質—	向山敦夫

第35巻 第5号 (通巻第195号)

(1985・1)

社会関連会計の計算構造	山上達人
作業管理に関する理論的考察 —わが国自動車工業経営におけるロボット導入に関連して—	橋博
戦前の小売市場 (I)	石原武政
外国為替の基礎理論	片岡尹
70年代米国証券市場における株価形成について (4・完)	佐賀卓雄
操業度水準における若干の考察 —1920年代NACAの議論を中心として—	和田淳三

〈資料〉

19世紀ドイツの工業原価計算 —パリッカ著『19世紀ドイツの経営簿記と工業原価計算』1938年抄訳—	平林喜博
---	------

第35巻 第6号 (通巻第196号)

(1985・3)

商店街の組織化 —戦前の商店街商業組合を中心として(上)—	石原武政
アメリカ鉄道財務とイギリスの対アメリカ鉄道投資 —1893年恐慌まで(下)—	佐合絃一

- 順位統計量にもとづくベータの推定：日本の株価データについて三 浦 良 造
 ニューヨーク・ポート・オーソリティの事業と財政
 —大都市圏における社会資本管理—入 谷 貴 夫
 中央銀行信用論序説
 —法貨規定を中心に—鳥 畑 与 一

第36巻 第1号 (通巻第197号)

(1985・5)

- 商店街の組織化
 —戦前の商店街商業組合を中心として(下)—石 原 武 政
 高度経済成長期の大阪瓦斯株式会社安 部 誠 治
 ソ連邦における技術導入の形態と技術発展
 —コンピュータとプロセス・コントロールの場合—市 川 浩
 企業戦略の経済的・社会的意義について
 —両大戦間期日立製作所を中心に—中 川 涼 司
 Urban Policies in the Metropolitan Areas of Japan:
 Post World War II to the PresentKenichi Miyamoto
 Allgemeine Geschäfts-und Versicherungsbedingungen
 und MarktKichie Yoshikawa

第36巻 第2号 (通巻第198号)

(1985・7)

- 会計情報の拡大と社会関連会計
 —とくに管理会計との関係を中心に—山 上 達 人
 情報管理の生成とその展開高 橋 敏 朗
 外国為替の基礎理論片 岡 尹
 公共交通と交通弱者の問題について
 —その理論的概観—西 村 弘

第36巻 第3号 (通巻第199号)

(1985・9)

- 利益と株価山 形 休 司
 公設小売市場の設立
 —戦前の小売市場(Ⅱ)—石 原 武 政
 順位統計量にもとづくベータの推定：日本の株価データについて：補遺三 浦 良 造
 無担保社債の導入について佐 賀 卓 雄
 1965年ソ連経済改革と管理論の形成についての一考察音 羽 周
 連邦準備法成立後の米銀の対外進出
 —ドル為替圏形成との関連で—西 倉 高 明
 ドイツにおける損益計算書の展開
 —創造価値概念の導入に関連して—向 山 敦 夫

第36卷 第4号 (通巻第200号)

(1985・11)

評伝：W.J.M.ランキン	加藤 邦 興
アメリカ工業証券市場の形成	佐合 紘 一
NFC民有化についての覚え書	濱川 一 憲
低成長期における日銀信用の機能変化について	鳥畑 与 一
管理会計史における H.Emerson 標準原価論の再検討 — 標準原価・能率原価・割当原価の変遷を中心として —	岡野 浩
構造変革期における日本開発銀行	鈴木 啓 之

第36卷 第5・6合併号 (通巻第201・202合併号)

(1986・1)

生川栄治先生
中西市郎先生 退任記念号
橘 博先生

社会関連会計と生産資本貸借対照表 — 「総合企業持分会計システム」の体系化について —	山 上 達 人
FASBの成立過程	山 形 休 司
日本の都市政策の展望	宮 本 憲 一
国鉄貨物輸送の再生を考える — 国鉄再建監理委員会「答申」にふれつつ —	柴 田 悦 子
金融自由化の現局面 — 1984～1985 —	谷 田 庄 三
1960年代米国の合併運動と合併会計(1)	西 田 博
テイラーとガントおよびギルブレス — 科学的管理運動の一齣 —	稲 村 毅
アメリカにおける巨大株式会社の形成と財務政策	佐合 紘 一
国際通貨と外国為替取引	片 岡 尹
ライトナーの私経済学	岡 本 人 志
機会損失と不確実性のコスト(上)	石 川 純 治
商業経済論パラダイムの再検討 — 「配給」概念論議を中心として —	加 藤 司
生川栄治先生 略歴・業績	
中西市郎先生 略歴・業績	
橘 博先生 略歴・業績	

第37卷 第1号 (通巻第203号)

(1986・4)

公設小売市場制度の確立 — 戦前の小売市場(Ⅲ) —	石 原 武 政
-------------------------------------	---------

英公企業の「パフォーマンス」をめぐる議論について	濱川 一 憲
機会損失と不確実性のコスト (下)	石川 純 治
日本における物性物理学と技術開発 (上)	市川 浩
1950~60年代日本の電子工業の変容と産業独占企業の経営組織 — 日立製作所、富士通を中心に —	中川 涼 司

第37巻 第2号 (通巻第204号)

(1986・7)

阪神工業地帯の鉄鋼業	安井 國 雄
一括登録制 (Shelf Registration) 導入以降の米国引受業界	佐賀 卓 雄
円の国際化の意義と展望 (上)	中 條 誠 一
購買力平価説について	許 少 強
日本における物性物理学と技術開発 (下)	市川 浩
成果概念に関する一考察 — Betriebsertrag と Wertschöpfung に関連して —	向 山 敦 夫
管理会計史方法論序説 — 管理会計史と管理会計論史との統一的理解 —	岡 野 浩
〈資料〉 R.S.カップラン『上級管理会計』解説 (1)	石川 純 治

第37巻 第3号 (通巻第205号)

(1986・9)

現代企業と経営分析指標 — 社会関連分析の体系化によせて —	山 上 達 人
公設小売市場の経営収支 — 戦前の小売市場 (IV) —	石 原 武 政
円の国際化の意義と展望 (下)	中 條 誠 一
戦後道路投資政策の展開とその転機	西 村 弘
港湾管理の財政問題 — 費用負担の問題を中心に (上) —	入 谷 貴 夫
アメリカ金融政策の動向、1973年~1978年	荒 井 敏 男

第37巻 第4号 (通巻第206号)

(1986・11)

油症原因事故としての「工作ミス説」 — 1. 樋口シナリオを中心として —	加 藤 邦 興
「組織と管理」に関する基本的考察	植 村 省 三
グラス・スティーガル (GS) 法と銀行業務規制緩和 (上)	佐 賀 卓 雄
情報システムとシグナルの価値 (II)	石 川 純 治
高地ピードモント地域農業の位置と性格 (1850~90年) (上) — 「安価で豊富で従順な」白人綿業労働力の創出と関わって —	富 澤 修 身

「低成長」期における財政投融資について 鈴木啓之

第37巻 第5・6合併号 (通巻第207・208号)

(1987・1)

向笠良一先生 退任記念号

臨海部埋立と港湾再開発 柴田悦子

1980年代における金融資本の集中化状況 谷田庄三

油症原因事故としての「工作ミス説」

— 2. 汚染食用油の量とPCB濃度 — 加藤邦興

経営者支配論批判の基本視角

— 「会社自体」論批判 — 稲村毅

世紀転換期におけるアメリカ商業銀行と投資銀行業務

— 世紀転換期アメリカにおける銀行業と証券業(1) — 佐合絃一

組織開発と組織変革 亀田速穂

公共企業体日本国有鉄道の成立に関する覚書 安部誠治

情報システムとシグナルの価値 (Ⅲ) 石川純治

高地ピードモント地域農業の位置と性格 (1850-90年) (下)

— 「安価で豊富で従順な」白人綿業労働力の創出と関わり — 富澤修身

Japanese Environmental Policies Since World War II Kenichi Miyamoto

A Note on the Principle of Hodges-Lehmann Type Estimation Ryozo Miura

向笠良一先生 略歴・業績

第38巻 第1号 (通巻第209号)

(1987・4)

社会関連情報とその開示

— わが国「会社報告書」の現状と課題 — 山上達人

公設小売市場の定着度

— 戦前の小売市場 (V) — 石原武政

イギリス「労働者協同組合」の最近の動向 浜川一憲

情報価値の基礎考察 石川純治

階層的経営組織形成の国際比較研究および

階層的経営組織と独占・金融資本との関係について

— A.D.Chandler, Jr. and H.Daems, ed., *Managerial Hierarchies*

の批判的検討を中心にして — 中川涼司

不動産資本論序説 宮野雄一

アメリカ「偉大な社会」期における「都市型」連邦補助金の展開

— 公的扶助補助金を中心に — 川瀬憲子

第38巻 第2号 (通巻第210号)

(1987・6)

1960年代米国の合併運動と合併合計 (Ⅱ) 西田博

Überlegungen zur ökonomischen Analyse der Verkehrsunfallversicherung

— Die Theorie der Abschreckung und Kompensation von Autounfällen — Kichie Yoshikawa

港湾管理の財政問題

— 費用負担の問題を中心に (下) — 入 谷 貴 夫

80年代における独占的産業資本と独占的銀行資本の関係の一考察

— 外債発行引受を中心に — 鳥 畑 与 一

〈資 料〉

R.S.カップラン『上級管理会計』解説(2) 石 川 純 治

第38巻 第3号 (通巻第211号)

(1987・8)

公設小売市場の価格とその影響

— 戦前の小売市場 (VI) — 石 原 武 政

油症原因事故としての「工作ミス説」

— 完. 事故調査の方法をめぐって — 加 藤 邦 興

わが国における情報生産産業の地域的生産構造

— テクノポリス圏域との関連で — 坂 本 清

管理会計史における M.C.Wells 原価計算発達史の考察(1)

— 間接費配賦批判の視角からの発達史 — 岡 野 浩

現代日本の対外援助費の構造変化について 鈴 木 啓 之

第38巻 第4号 (通巻第212号)

(1987・10)

ニックリッシュとフォレット

— 比較的一考察 — 稲 村 毅

情報入手のタイミングと情報の動的価値 石 川 純 治

アメリカ南部綿業と児童労働 富 澤 修 身

岐路に立つアメリカ道路政策

— 1987年新道路立法と社会資本維持管理問題 — 西 村 弘

1980年代初めのドル高とミスアライメント 荒 井 敏 男

〈書 評〉

阪口 要著『部分原価計算論序説』を読む 平 林 喜 博

第38巻 第5号 (通巻第213号)

(1987・12)

わが国『会社報告書』と社会関連情報の開示

— 事業報告書・英文報告書・広報用報告書の開示実態について — 山 上 達 人

原価会計情報開示の現状

— 社会関連会計情報の開示に関連して — 平 林 喜 博

日本的経営の特徴・現状・展望 植 村 省 三

大企業の成立と企業財務の変化

— 世紀転換期アメリカにおける銀行業と証券業(2) — 佐 合 紘 一

不確実性の共有と分散 —共同誘因とリスク配分—	石川純治
Power-Conflictパラダイムにおける二つの見方 —マーケティング・チャネルの『システム』認識について(上)—	加藤司
朝鮮戦争以前における品質管理と管理技術の導入の意義について —GHQの対日産業政策の視点から—	市川浩
'80年代の不動産資本の動向と東京・マイタウン計画の変容	宮野雄一

第38巻 第6号(通巻第214号)

(1988・2)

私設小売市場の進展と小売市場問題 —戦前の小売市場(VI)—	石原武政
バーナードの民主主義論	稲村毅
チャネル分析のフレームワーク —マーケティング・チャネルの「システム」認識について(下)—	加藤司
銀行間取引と貨幣市場 —西独における債務の証券化と債権の証券化との関連で—	清田匡
アメリカの連邦補助金制度改革 —一般交付金制度の成立と都市財政—	川瀬憲子
ドイツ機械製造業の成立における蒸気機関の役割	金房広幸

第39巻 第1号(通巻第215号)

(1988・4)

SNA/MPSの原型 —ソ連中央統計局国民経済バランス部の図式:1928—	野村良樹
大阪の金属工業(戦前期)	安井國雄
不確実性・情報・決定の評価に関する覚書	石川純治
アメリカの公的為替操作とIMF体制(上)	西倉高明
ニューヨーク市の1983年度不動産税改革	碓山洋
アメリカにおける投資分析の生成 —19世紀後半から1910年代にかけての発展動向について—	國部克彦

第39巻 第2号(通巻第216号)

(1988・6)

中国における河川輸送と河川港	柴田悦子
マーケティング・コンセプトについて	山本朗
1960年代米国の合併運動と合併会計(Ⅲ)	西田博
二つの債務累積についての覚書 —過剰貸付資本の視角から—	片岡尹
経営学の前史 —官房学のなかの商業学、私経済学—	岡本人志

ふたたび「動力と制御の矛盾」について市川 浩

第39巻 第3号 (通巻第217号)

(1988・8)

経済の成熟化と地域経済

—イギリスの場合—山名 伸作

戦時統制経済下の公設小売市場

—戦前の小売市場(Ⅷ・完)—石原 武政

F.W.テイラーによる熟練の分解過程と管理システムの形成(1)

—F.W.テイラーとH.L.ガントの管理論比較研究(1)—坂本 清

キャノン綿業企業チェーンの形成と統合(上)

—アメリカ南部綿業の研究(1)—富澤 修身

レーガン政権期におけるブロック補助金政策の展開川瀬 憲子

1920年代前期のアメリカにおける経営分析の発展動向

—標準比率を中心とする比率分析法の急速な発展について—国部 克彦

第39巻 第4号 (通巻第218号)

(1988・10)

経営組織の構造改変と現代官僚制植村 省三

アメリカ鉄道業における過大資本化と証券・資本規制

—19世紀における州規制—佐合 紘一

F.W.テイラーによる熟練の分解過程と管理システムの形成(2)

—F.W.テイラーとH.L.ガントの管理論比較研究(1)—坂本 清

キャノン綿業企業チェーンの形成と統合(下)

—アメリカ南部綿業の研究(1)—富澤 修身

管理会計史におけるM.C.Wells原価計算発達史の考察(2)

—間接費配賦批判の視角からの発達史—岡野 浩

「構造調整」政策と日本経済入谷 貴夫

1980年代の為替相場の変動と経常収支の不均衡荒井 敏男

第39巻 第5号 (通巻第219号)

(1988・12)

年次報告書と社会関連情報

—イギリス・ドイツの事例を中心として—山上 達人

品揃え形成と垂直的マーケティング・システム(上)

—W.AldersonのSorting概念にかかわって—加藤 司

ジロツェントラーレの基本構造(1)清田 匡

情報化時代のトラック運輸産業の変化と展望(上)西村 弘

1980年代の円の国際化について(上)

—「基軸通貨ドルの補完」論との関連を中心に—鳥畑 与一

第39巻 第6号 (通巻第220号)

(1989・2)

- 「ブルー・スカイ」法の成立とその限界 佐 合 紘 一
 戦略経営と情報システム 高 橋 敏 朗
 H.L.ガント「課業賞与制」の展開とその意義 (1)
 — F.W.テイラーとH.L.ガントの管理論比較研究(2) — 坂 本 清
 中国における中外合併企業の会計問題 石 若 一
 〈書 評〉
 山本栄治著『基軸通貨の交替とドル』 西 倉 高 明

第40巻 第1号 (通巻第221号)

(1989・4)

- 派生商品市場の機能とブラック・マンデー 佐 賀 卓 雄
 メイヨー・レスリスバーガー労務学説に関する一考察 田 中 和 雄
 管理会計史における M.C.Wells 原価計算発達史の考察 (3)
 — 間接費配賦批判の視角からの発達史 — 岡 野 浩
 日本・台湾・中国の工作機械工業の比較研究
 — NC工作機械と工業化の移動について — 佐々木 純一郎
 「特定産業振興臨時措置法案」と石油化学工業 寺 田 隆 至
 〈書 評〉
 海道ノブチカ著『西ドイツ経営学の展開』 岡 本 人 志

第40巻 第2号 (通巻第222号)

(1989・7)

- 会計情報の有用性について 山 形 休 司
 公益事業持株会社支配機構の構築と企業会計実務
 — 米国の第二次合併運動と合併会計の考察 — 西 田 博
 H.L.ガント「課業賞与制」の展開とその意義 (2)
 — F.W.テイラーとH.L.ガントの管理論比較研究(2) — 坂 本 清
 最近のソ連邦における技術学の認識論的研究について 市 川 浩
 土地税制における地価評価問題 碓 山 洋
 香港経由の中国・台湾間接貿易の一考察
 — 「一国両制」をめぐる — 佐々木 純一郎
 〈資 料〉
 詳伝エルトン・メイヨー (1) 稲 村 毅

第40巻 第3号 (通巻第223号)

(1989・9)

- アメリカ鉄道証券・財務に対する連邦規制の展開
 — 1887年州際通商法から1920年運輸法まで — 佐 合 紘 一
 金融制度改革をめぐる 佐 賀 卓 雄

ジロツェントラーレの基本構造(2)	清田 匡
アメリカの債務国化、その原因と問題点	荒井 敏男
アメリカ新連邦主義下の州と地方の財政関係 —ニューヨーク州の事例を中心に—	川瀬 憲子
I B M社の研究開発と軍事プロジェクト	高橋 信一

第40巻 第4号 (通巻第224号)

(1989・11)

土地価格と零細土地所有	山名 伸作
軍事技術論の課題と方法	加藤 邦興
南北戦争後のアメリカ南部綿業に関する「プランター・工業家」説の検討 —アメリカ南部綿業の研究(2)—	富澤 修身
1920年代中期のアメリカにおける経営分析の発展動向 —財務比率分析に対する批判論の形成について—	国部 克彦
主成分による集団性分析の方法 —『家計調査年報』を利用して—	佐野 一雄
中国輸出貿易の発展とその問題点	胡 軍
〈資料〉 詳伝エルトン・メイヨー(2)	稲村 毅

第40巻 第5・6合併号 (通巻第225・226号)

(1990・1)

辻 厚生先生
山名伸作先生 退任記念号
山本 朗先生

社会関連会計と社会関連分析 —「資本付加価値率」指標と現状分析—	山上 達人
小売商業調整特別措置法の背景と経緯	石原 武政
エクイティファイナンスと擬制資本の運動	佐合 紘一
組織—環境間関係論と組織の適応(上)	亀田 速穂
ホルト一族の綿業企業 —アメリカ南部綿業の研究(3)—	富澤 修身
管理会計史研究の現状と課題 —日本における貢献—	岡野 浩
19世紀中葉におけるドイツ工業会計の一考察 —C.G. Gottschalkの事前損益計算—	中 鷺 道 靖
The Decline and Restructuring of Osaka Metropolitan Area —Analytical Comparison with Tokyo Metropolitan Area—	Ken'ichi Miyamoto
辻 厚生先生 略歴・業績	
山名伸作先生 略歴・業績	

山本 朗先生 略歴・業績

第41巻 第1・2号 (通巻第227・228号)

(1990・6)

- イギリス会計学の新しい潮流
—ホップウッドらの「社会関連学派」について— 山 上 達 人
- 会計測定の基本問題についての一考察 山 形 休 司
- Economic Globalization and Environmental Management Ken'ichi Miyamoto
- 国民経済計算体系の端緒形態としてのベトロフ・バランス (1932年)
第1部 国民経済物材需給バランス 野 村 良 樹
- 国際物流と運輸業 柴 田 悦 子
- ジョン・スミートン評伝 (上) 加 藤 邦 興
- 企業の「国際化」と日本的経営
—在米日系製造企業の経営調査をつうじて— 植 村 省 三
- 現代組織論の新動向 稲 村 毅
- 二つの債務累積再論
—ラテンアメリカ、失われた10年— 片 岡 尹
- The Cost of Choice and the Value of Information (1) Junji Ishikawa
- 労務管理と「テイラー主義」(1)
—プレイヴァマンの所論をめぐって— 田 中 和 雄
- 会計公準と取得原価主義
—ギルマンの検討を通じて— 冨 増 和 彦
- 70年代以降のサンパウロの住宅問題
—複合的都市化の諸要因— 山 崎 圭 一
- 〈研究ノート〉
『会社会計基準序説』研究ノート 石 若 一

第41巻 第3号 (通巻第229号)

(1990・9)

- ジャンク・ボンド市場とドレクセル・バーナム・ランベール社
—80年代ウォール街の一断面— 佐 賀 卓 雄
- The Cost of Choice and the Value of Information (2) Junji Ishikawa
- 品揃え形成と垂直的マーケティング・システム (中)
—両者の理論的位相にかかわって— 加 藤 司
- 産業立地論の国際的適用についての一考察
—生産と消費の空間的相互作用の視点から— 鈴 木 洋 太 郎
- 中国資本主義の発展と華僑企業の役割
—華僑投資をめぐって— 佐 々 木 純 一 郎
- 現代大都市の不動産課税評価の改革方向に関する一考察
—1983年度不動産税改革前後のニューヨーク市を事例に— 碓 山 洋
- 再編成前の電力産業の経営改善について
—電力再編成の前提— 中 瀬 哲 史